

社会科教室

第 138 号

平成9年度総会特集号

- ・ 組織と運営
- ・ 年間計画
- ・ 研究主題
- ・ 会員名簿

香川県小学校教育研究会社会部会
香川県社会科教育研究会



香社研の新しい節目

香川県小学校教育研究会社会部会
香川県社会科教育研究会
会長 上川 敦生

平成8年7月の第15期中央教育審議会第一次答申において次期教育課程の改善の柱の一つに総合学習が取り入れられることとなったのは周知の通りです。香社研では、すでに昭和59年の全国社会科研究大会香川大会（亀阜大会）において公開しておりますことは特筆しておくべきでしょう。当時まだ、総合学習という言葉さえ耳慣れないときでしたが、単元化を図り全国にうったえたのです。それから10余年以上経って昨年香社研は平成10年度に再び全国大会を引き受けることになりました。

香社研の歴史をひもといてみると、結成が昭和22年とも23年とも記されております。仮に昭和23年とすると、平成10年はちょうど50年目の節目にあたります。

社会の変化とともに学校教育の在り方も大変革の時期にあたっているおり、社会科学学習を中心に総合学習の在り方についてここ10年来地道に実践を重ねてきた香川の成果を全国に問うことができるのは大変ありがたいことです。

いよいよ次年度に迫った全国大会に向けて研究内容と方法そして組織運営について鋭意取り組んでいるところです。

研究テーマには「豊かにたくましく生きる人間づくり教育」をおき、——新教育課程の構想による社会科・生活科学学習と総合学習の展開——をサブテーマにしています。

これはまさに一教科社会科だけの研究ではありません。学校経営の発想あるいは人間づくりの立場での提案であり、全国的ないじめ・不登校、青少年の問題行動等教育界全体の問題解決を提案する内容であります。現代的教育課題を視野に入れた研究テーマであると自負していきたいと思います。

研究内容としては、次の3視点を掲げています。

- 1 学力観として 真の学力観を「人間」「能力」「知識」から構築しています。
- 2 教育課程の編成「総合学習の構想」では、教科、道徳、特別活動を教科統合と教科等統合の考えを取り込み、関連と統合を図る単元開発の構想を打ち出しています。
- 3 授業研究の在り方については、知識構造、学習材と典型材、学習内容の厳選等に取り組んでいます。

そのうえに、教科本来の社会科をどう改善していくのか、このあたりの提案もしていかななくてはなりません。平成10年度は次期教育課程改訂の姿が現れてくる時期かと思われます。

本年度このような重要な年に大川集会を中心に目標を全国大会に向けての研究が進められることは意義深いものがあります。香社研各郡市会員結束のもと研究が深められますことを期待しております。

平成 8 年 度

研究の歩み

6 月定例会・・・三豊，観音寺（観音寺市立観音寺南小学校）6 月 15 日
 6 年「3 人の武将と全国統一」
 授業者 久保 智美（観・観音寺南小）
 提案者 佐伯 香織 真鍋 佳用子（観・観音寺南小）
 指導者 前田 高次先生
 池内 博先生

7 月定例会・・・大川，小豆（寒川町立石田小学校）7 月 6 日
 6 年「260 年続いた江戸幕府」
 授業者 江崎 衣代（大・石田小）
 提案者 沖 肅二（大・誉水小）
 池田 茂樹（小・福田小）
 指導者 森 正彦先生

7 月 31 日 夏季研修会（観音寺南小学校）

10 月定例会・・・仲善，丸亀（多度津町立四箇小学校）10 月 5 日
 6 年「明治の新しい世の中」
 授業者 森井 信一（仲・四箇小）
 提案者 森 昭二（善・東部小）
 久保山 学（丸・城西小）
 指導者 田尾 勝先生

10 月 24 日 香小研社会部会研究発表会（観音寺南小学校）

11 月定例会・・・綾歌，木田，香川（綾歌町立富熊小学校）11 月 16 日
 4 年「山地の人々の暮らし」
 授業者 末澤 康彦（綾・富熊小）
 提案者 高吉 直之（綾・昭和小）
 長岡 伸幸（木・氷上小）
 指導者 山田 知志先生

2 月定例会・・・高松（高松市立亀阜小学校）2 月 1 日
 5 年総合学習「瀬戸内海とわたし」
 授業者 金崎 美穂（高・亀阜小）
 上井 嘉（高・亀阜小）
 提案者 横井 裕子（高・亀阜小）旅田 敏弘（附属高松小）
 池田 理恵（高・四番丁小）寺島 俊秀（坂・中央小）
 指導者 森 正彦先生
 植松 勝先生
 池内 博先生

研究委員会

3 月 1 日

夏期研修会(観音寺南小学校)

7月31日(水) (進行…増田教頭)

時刻	内				容			
8:45 9:00	受付 提案授業							
	学 年	単 元 名, 授 業 者	司会者	提案者	協 力 者	指導者	部会責任者	
	調理 (副理)	列車に乗って旅をしよう 鈴木 徹	小野ひとみ (観・栗井小)	藤田昌代 (観音寺南小)	青野豊一 安東典子 (三・大野小)(三・下高瀬小) 大西時喜子 (三・本山小)	井上玲子 (仲・琴平小)		
	1	ぼくたち わたしたちの ぜにがたまつり 佐川佳寿子(観音寺南小)	森川宏子	三谷厚美	橋田栄子 (三・豊浜小) 前川紀子 (観・仁尾小)	岡根淳二 (香川県教委主任指導主事)	北山正道 (仲・琴平小校長)	
	2	ありあけはまの夏 合田聖子(観音寺南小)	(三・松崎小)	(観音寺南小)				
	3	しょうかいします。わたしたちのまち かん音寺 宮武昭一(観音寺南小)	安藤 通 (三・上高野小)	細川ますみ (観音寺南小)	長谷川剛, 萬亀弘古 (観・栗井小)(三・比地小) 加藤房子, 大西久美子 (三・比地小)(三・本山小)	野村一夫 (香川県教委指導主事)	鎌野 修 (香・塩江小校長)	
	4	わたしたちの県をしらべよう 國土英二(観音寺南小)	安藤清和 (三・松崎小)	長谷川 尚 (観音寺南小)	木村勝美, 福岡靖芳 (三・箱浦小)(三・詫間小) 高浜淳子, 石川路子 (三・詫間小)(観・一ノ谷小)	田尾 勝 (香川県教委主任指導主事)	丸野忠義 (坂・王越小校長)	
	5	土と炎に生きる…備前焼き 大井敏江, 大久保淳子 (観音寺南小)(観音寺南小)	大久保 進 (三・比地小)	神原啓夫 (観音寺南小)	西山忠雄, 三崎彰夫 (三・二ノ宮小)(観・高室小) 横山妙子, 實田小夜子 (観・高室小)(観・豊田小)	森 正彦 (高松市教委指導主事)	川田裕史 (高・四番丁小校長)	
	6	徳川家光と江戸幕府 佐伯香織(観音寺南小)	宮武昭裕 (三・桑山小)	川西由紀子 (観音寺南小)	赤坂光敏, 白杵 優 (観・一ノ谷小)(三・詫間小) 十鳥博子, 関 伊津子 (観・常磐小)(三・大浜小)	前田高次 (観音寺市教委主任指導主事)	河津 學 (坂・東部小校長)	
10:00	分科会討議(授業)							
10:50	休憩							
11:00	分科会(実践交流)							
	学 年	司会者	提 案 者	記 録 者	指 導 者			
	1, 2	森口英樹 (木・田中小)	野口幸嗣 楠原一恵 (木・平井小)(坂・中央小)	中西加代 (小・土庄小)	田井秀典 (三・上高野小教頭)	高橋英武 (高・古高松小教頭)		
	3	亀山典良 (仲・白方小教頭)	有岡俊文 大嶋和彦 (坂・昭和小)(高・四番丁小)	亀井雅子 (丸・城辰小)	香川佳和 (丸・飯野小教頭)	三井重彰 (高・屋島西小教頭)		
	4	大高哲也 (大・造田小)	松村和仁 合田吉宏 (大・北山小)(丸・城辰小)	梅本明宏 (大・志度小)	松下繁美 (綾・国分寺南部小教頭)	古沢博美 (高・四番丁小教頭)		
	5	野口泰三 (高・下笠井小)	笠井裕子 永坂邦彦 (高・木太北小)(大・三本松小)	榎 貴志 (高・川添小)	関根建一 (高・新塩屋町小教頭)	原 直史 (三・豊浜小教頭)		
	6	金井宏諾 (坂・松山小)	福家寿夫 山内秀則 (坂・榎石小)(仲・琴平小)	金関太郎 (坂・岩黒小)	野島 悟 (高・三溪小教頭)	八木郁夫 (大・松尾小教頭)		
12:15	昼食・休憩							
13:00	開会式							
13:10	研究発表 本部提案「豊かにたくましく生きる人間づくりの教育」 ～問いと論証の調べ学習～				提案者	旅田敏弘 (附高小) 喜多文彦 (附高小)		
13:40	研究発表 学校提案「豊かな学力の形成をめざした、個が生きる学習の創造」 ～思考と表現の一体化を中心にして～				提案者	真鍋佳用子 (観音寺南小)		
14:15	講演 「生きる力」を育てる社会科授業 講師 文部省教科調査官 北 俊夫 先生				記録者	(小・真砂俊和)		
16:15	閉会式							

香小研社会部会研究発表会（観音寺南小学校）

時 刻	内 容																																					
8:30 9:00	受付 公開授業1																																					
	<table> <tr> <th>学年</th><th>単 元 名</th><th>授 業 者</th></tr> <tr> <td>観覧</td><td>レストランへ行こう</td><td>砂川朋子, 細川明子 高木敦子</td></tr> <tr> <td>1年</td><td>ことひきこうえんのあきをたのしもう</td><td>三谷厚美, 片山智子 佐川佳寿子, 斎藤愉実子</td></tr> </table>	学年	単 元 名	授 業 者	観覧	レストランへ行こう	砂川朋子, 細川明子 高木敦子	1年	ことひきこうえんのあきをたのしもう	三谷厚美, 片山智子 佐川佳寿子, 斎藤愉実子	<table> <tr> <th>学年</th><th>単元名</th><th>授業者</th></tr> <tr> <td>3年</td><td>しょうかいしますははちのちのちのちのち</td><td>小野珠恵</td></tr> <tr> <td>4年</td><td>新しい地域づくり</td><td>國土英二</td></tr> <tr> <td>5年</td><td>伸びゆく日本の物流</td><td>大井敏江, 大久保淳子</td></tr> <tr> <td>6年</td><td>二つの戦争と人々のくらし</td><td>佐伯香織</td></tr> </table>	学年	単元名	授業者	3年	しょうかいしますははちのちのちのちのち	小野珠恵	4年	新しい地域づくり	國土英二	5年	伸びゆく日本の物流	大井敏江, 大久保淳子	6年	二つの戦争と人々のくらし	佐伯香織												
学年	単 元 名	授 業 者																																				
観覧	レストランへ行こう	砂川朋子, 細川明子 高木敦子																																				
1年	ことひきこうえんのあきをたのしもう	三谷厚美, 片山智子 佐川佳寿子, 斎藤愉実子																																				
学年	単元名	授業者																																				
3年	しょうかいしますははちのちのちのちのち	小野珠恵																																				
4年	新しい地域づくり	國土英二																																				
5年	伸びゆく日本の物流	大井敏江, 大久保淳子																																				
6年	二つの戦争と人々のくらし	佐伯香織																																				
10:00	公開授業2																																					
	<table> <tr> <th>学年</th><th>単 元 名</th><th>授 業 者</th><th>協 力 者 (県)</th><th>協 力 者 (郡)</th></tr> <tr> <td>観覧</td><td>乗り物だいすき</td><td>藤田昌代, 小西恵美子</td><td rowspan="2">丸岡小百合 (坂・中央小) 高橋夕香里 (高・亀阜小) 野網 明子 (大・鶴羽小)</td><td>青野 豊一 (三・大野小) 安藤 典子 (三・下高瀬小)</td></tr> <tr> <td>2年</td><td>わくわく南っ子まつりをしよう</td><td>森糸町子, 合田 聖子 白井清美</td><td>橋田 栄子 (三・豊浜小) 前川 紀子 (三・仁尾小) 森川 宏子 (三・松崎小)</td></tr> <tr> <td>3年</td><td>しょうかいしますわたしたちのまじかまぼこ工場</td><td>細川ますみ</td><td>三好 道代 (綾・滝宮小) 岩崎 正教 (高・林小) 山野 正登 (丸・城地小) 岡田 耕一 (小・大部小)</td><td>長谷川 剛 (観・栗井小) 萬亀 弘吉 (三・比地小) 加藤 房子 (三・比地大小) 大西久美子 (三・本山小)</td></tr> <tr> <td>4年</td><td>新しい地域づくり</td><td>石田 謙二</td><td>佐藤 真澄 (綾・国分寺北小) 岡本 英孝 (高・築地小) 片井 功 (仲・琴平小) 吉田 和弘 (坂・東部小)</td><td>木村 勝美 (三・箱浦小) 福岡 靖芳 (三・詫間小) 高浜 淳子 (三・詫間小) 石川 路子 (観・一ノ谷小)</td></tr> <tr> <td>5年</td><td>伸びゆく日本の物流</td><td>石川 裕子</td><td>宮武 克明 (綾・宇多津小) 亀井 健男 (大・普水小) 樋口 昌樹 (丸・郡家小) 亀井 伸治 (高・四番丁小)</td><td>西山 忠男 (三・二ノ宮小) 三崎 彰夫 (観・高室小) 横山 妙子 (観・高室小) 寶田小夜子 (観・豊田小)</td></tr> <tr> <td>6年</td><td>長く続いた戦争と新しい日本の出発</td><td>久保 智美</td><td>藤本 一郎 (高・川岡小) 古澤 哲夫 (大・白鳥小) 山田 泰二 (仲・豊原小) 大西 浩史 (坂・中央小)</td><td>赤坂 光敏 (観・一ノ谷小) 白杵 優 (三・詫間小) 十鳥 博子 (観・常磐小) 関 伊津子 (三・大浜小)</td></tr> </table>	学年	単 元 名	授 業 者	協 力 者 (県)	協 力 者 (郡)	観覧	乗り物だいすき	藤田昌代, 小西恵美子	丸岡小百合 (坂・中央小) 高橋夕香里 (高・亀阜小) 野網 明子 (大・鶴羽小)	青野 豊一 (三・大野小) 安藤 典子 (三・下高瀬小)	2年	わくわく南っ子まつりをしよう	森糸町子, 合田 聖子 白井清美	橋田 栄子 (三・豊浜小) 前川 紀子 (三・仁尾小) 森川 宏子 (三・松崎小)	3年	しょうかいしますわたしたちのまじかまぼこ工場	細川ますみ	三好 道代 (綾・滝宮小) 岩崎 正教 (高・林小) 山野 正登 (丸・城地小) 岡田 耕一 (小・大部小)	長谷川 剛 (観・栗井小) 萬亀 弘吉 (三・比地小) 加藤 房子 (三・比地大小) 大西久美子 (三・本山小)	4年	新しい地域づくり	石田 謙二	佐藤 真澄 (綾・国分寺北小) 岡本 英孝 (高・築地小) 片井 功 (仲・琴平小) 吉田 和弘 (坂・東部小)	木村 勝美 (三・箱浦小) 福岡 靖芳 (三・詫間小) 高浜 淳子 (三・詫間小) 石川 路子 (観・一ノ谷小)	5年	伸びゆく日本の物流	石川 裕子	宮武 克明 (綾・宇多津小) 亀井 健男 (大・普水小) 樋口 昌樹 (丸・郡家小) 亀井 伸治 (高・四番丁小)	西山 忠男 (三・二ノ宮小) 三崎 彰夫 (観・高室小) 横山 妙子 (観・高室小) 寶田小夜子 (観・豊田小)	6年	長く続いた戦争と新しい日本の出発	久保 智美	藤本 一郎 (高・川岡小) 古澤 哲夫 (大・白鳥小) 山田 泰二 (仲・豊原小) 大西 浩史 (坂・中央小)	赤坂 光敏 (観・一ノ谷小) 白杵 優 (三・詫間小) 十鳥 博子 (観・常磐小) 関 伊津子 (三・大浜小)			
学年	単 元 名	授 業 者	協 力 者 (県)	協 力 者 (郡)																																		
観覧	乗り物だいすき	藤田昌代, 小西恵美子	丸岡小百合 (坂・中央小) 高橋夕香里 (高・亀阜小) 野網 明子 (大・鶴羽小)	青野 豊一 (三・大野小) 安藤 典子 (三・下高瀬小)																																		
2年	わくわく南っ子まつりをしよう	森糸町子, 合田 聖子 白井清美		橋田 栄子 (三・豊浜小) 前川 紀子 (三・仁尾小) 森川 宏子 (三・松崎小)																																		
3年	しょうかいしますわたしたちのまじかまぼこ工場	細川ますみ	三好 道代 (綾・滝宮小) 岩崎 正教 (高・林小) 山野 正登 (丸・城地小) 岡田 耕一 (小・大部小)	長谷川 剛 (観・栗井小) 萬亀 弘吉 (三・比地小) 加藤 房子 (三・比地大小) 大西久美子 (三・本山小)																																		
4年	新しい地域づくり	石田 謙二	佐藤 真澄 (綾・国分寺北小) 岡本 英孝 (高・築地小) 片井 功 (仲・琴平小) 吉田 和弘 (坂・東部小)	木村 勝美 (三・箱浦小) 福岡 靖芳 (三・詫間小) 高浜 淳子 (三・詫間小) 石川 路子 (観・一ノ谷小)																																		
5年	伸びゆく日本の物流	石川 裕子	宮武 克明 (綾・宇多津小) 亀井 健男 (大・普水小) 樋口 昌樹 (丸・郡家小) 亀井 伸治 (高・四番丁小)	西山 忠男 (三・二ノ宮小) 三崎 彰夫 (観・高室小) 横山 妙子 (観・高室小) 寶田小夜子 (観・豊田小)																																		
6年	長く続いた戦争と新しい日本の出発	久保 智美	藤本 一郎 (高・川岡小) 古澤 哲夫 (大・白鳥小) 山田 泰二 (仲・豊原小) 大西 浩史 (坂・中央小)	赤坂 光敏 (観・一ノ谷小) 白杵 優 (三・詫間小) 十鳥 博子 (観・常磐小) 関 伊津子 (三・大浜小)																																		
11:00	分科会1 (公開授業2を中心とした討議)																																					
	<table> <tr> <th>学年</th><th>司 会 者</th><th>提 案 者</th><th>記 録 者</th><th>指 導 者</th></tr> <tr> <td>観覧</td><td>大西時喜子 (三・本山小)</td><td>鈴木 徹</td><td>砂川 朋子</td><td>井上 玲子 (仲・琴平小)</td></tr> <tr> <td>1・2年</td><td>小野ひとみ (観・栗井小)</td><td>森糸 町子</td><td>三谷 厚美</td><td>岡根 淳二 (香川県教委主任指導主事)</td></tr> <tr> <td>3年</td><td>安藤 通 (三・上高野小)</td><td>宮武 昭一</td><td>萬亀 弘吉 (三・比地小)</td><td>野村 一夫 (香川県教委指導主事)</td></tr> <tr> <td>4年</td><td>安藤 清和 (三・松崎小)</td><td>柴坂 千尋</td><td>高浜 淳子 (三・詫間小)</td><td>関根 建一 (高・新塩屋町小教頭)</td></tr> <tr> <td>5年</td><td>大久保 進 (三・比地小)</td><td>岩田 富雄</td><td>寶田小夜子 (観・豊田小)</td><td>植松 勝 (香川県教委主任指導主事)</td></tr> <tr> <td>6年</td><td>宮武 昭裕 (三・桑山小)</td><td>篠原 康之</td><td>十鳥 博子 (観・常磐小)</td><td>前田 高次 (観音寺市教委主任指導主事)</td></tr> </table>	学年	司 会 者	提 案 者	記 録 者	指 導 者	観覧	大西時喜子 (三・本山小)	鈴木 徹	砂川 朋子	井上 玲子 (仲・琴平小)	1・2年	小野ひとみ (観・栗井小)	森糸 町子	三谷 厚美	岡根 淳二 (香川県教委主任指導主事)	3年	安藤 通 (三・上高野小)	宮武 昭一	萬亀 弘吉 (三・比地小)	野村 一夫 (香川県教委指導主事)	4年	安藤 清和 (三・松崎小)	柴坂 千尋	高浜 淳子 (三・詫間小)	関根 建一 (高・新塩屋町小教頭)	5年	大久保 進 (三・比地小)	岩田 富雄	寶田小夜子 (観・豊田小)	植松 勝 (香川県教委主任指導主事)	6年	宮武 昭裕 (三・桑山小)	篠原 康之	十鳥 博子 (観・常磐小)	前田 高次 (観音寺市教委主任指導主事)		
学年	司 会 者	提 案 者	記 録 者	指 導 者																																		
観覧	大西時喜子 (三・本山小)	鈴木 徹	砂川 朋子	井上 玲子 (仲・琴平小)																																		
1・2年	小野ひとみ (観・栗井小)	森糸 町子	三谷 厚美	岡根 淳二 (香川県教委主任指導主事)																																		
3年	安藤 通 (三・上高野小)	宮武 昭一	萬亀 弘吉 (三・比地小)	野村 一夫 (香川県教委指導主事)																																		
4年	安藤 清和 (三・松崎小)	柴坂 千尋	高浜 淳子 (三・詫間小)	関根 建一 (高・新塩屋町小教頭)																																		
5年	大久保 進 (三・比地小)	岩田 富雄	寶田小夜子 (観・豊田小)	植松 勝 (香川県教委主任指導主事)																																		
6年	宮武 昭裕 (三・桑山小)	篠原 康之	十鳥 博子 (観・常磐小)	前田 高次 (観音寺市教委主任指導主事)																																		
12:00	昼食・休憩 (アトラクション)																																					

13:00	分科会 2 (実践交流)					
	学年	司会者	提案者		記録者	指導者
	1・2年	日下 浩子 (高・鶴尾小)	富吉 淳子 (高・仏生山小)	眞井 孝征 (綾・国分寺南部小)	白川 由美 (高・太田小)	田井 秀典 (三・上高野小教頭)
	3年	小比賀隆之 (香・直島小)	小原 敏昭 (香・大野小)	寺嶋 俊秀 (坂・中央小)	大西 直人 (小・池田小)	野島 悟 (高・三溪小教頭)
	4年	森井 信一 (仲・四箇小)	森 昭二 (善・東部小)	金崎 美穂 (高・亀早小)	藤原 祐子 (丸・郡家小)	古沢 博美 (高・四番丁小教頭)
	5年	高田 宏隆 (大・相生小)	廣瀬 強 (大・石田小)	多田 明広 (丸・城南小)	六車 浩 (大・鶴羽小)	松下 繁美 (綾・国分寺南部小教頭)
	6年	金井 宏路 (坂・松山小)	田中 秀年 (坂・西部小)	江崎 衣代 (大・石田小)	岡本 敏英 (坂・西庄小)	高橋 英式 (高・古高松小教頭)
	※ 障害児部会は、分科会 1 を継続する。					
14:00						
14:15	開会式					
14:20	研究発表	本部提案「豊かにたくましく生きる人間づくりの教育」			提案者 旅田敏弘 (附属高松小) 喜多文彦 (附属高松小)	
14:40	研究発表	学校提案「豊かな学力の形成をめざした、個が生きる学習の創造」 －思考と表現の一体化を中心にして－			提案者 真鍋佳用子 (観音寺南小)	
15:00	講演	「生きる力を育む教育を求めて」 －教育課程の編成と実践－ 講師 高松短期大学教授 池内 博 先生				記録者 増田泰己 (小・星城小)
16:30	閉会式					

平成9年度の組織と運営

(1) 組織について

① 本部役員

	氏 名	学 校 名	〒 学校所在地	学校電話
会 長	上川 敦生	高・木太小	761 高・木太町3480-1	0878-61-6337
副会長	三原 一夫	善・中央小	765 善・文京町4-5-1	0877-62-1616
	丸野 忠義	坂・王越小	762 坂・王越町木沢211	0877-42-0104
	古市 聖治	大・津田小	769 大・津田町津田144	0879-42-2047
幹 事	伴 文夫	高・亀阜小	760 高・亀岡町10-1	0878-61-2013
	川田 裕史	高・四番丁小	760 高・番町1-5-1	0878-51-8390
	丸野 昭善	綾・飯山南小	762 綾・飯山町上掛町1206	0877-98-2024
	大西 孝典	観・常磐小	768 観・植田町365	0875-25-2988
会 計	曾根 照正	坂・中央小	762 坂・寿町3-1-2	0877-46-2124
監 査	中田 清	観・龍詩小	768 観・龍詩町1186-2	0875-25-4675

② 顧問

(歴代会長)

杉岡 茂	神原 萬吉	高嶋 利市	岩倉 良行
糸川 達	東原 岩男	柳 清茂	池内 博
岡野 啓	亀山 信夫	川田 豊弘	亀井 達男
岡田 弘治	曾根 照正	中田 清	

③ 総務

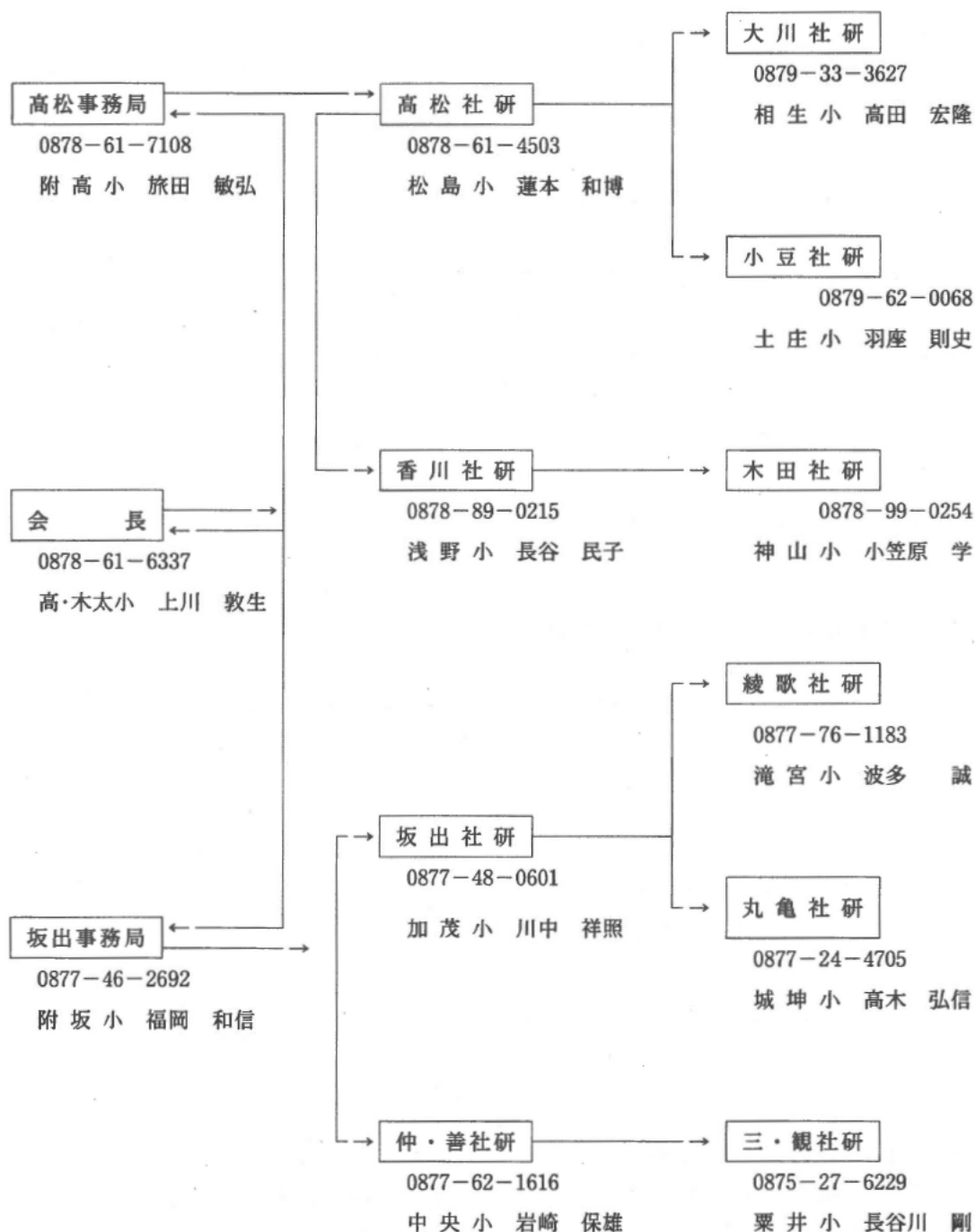
旅田 敏弘 福岡 和信 喜多 文彦

④ 平成10年度全国大会会場校

郡・市	校 名	校 長 名	〒 学校所在地	学校電話
高松	四番丁小	川田 裕史	760 高・番町1-5-1	0878-51-8390
高松	亀阜小	伴 文夫	760 高・亀岡町10-1	0878-61-2013
坂出	中央小	曾根 照正	762 坂・寿町3-1-2	0877-46-2124

郵便番号	郡 市	町 名	校 名	○	理 事 名	勤 電 話
760	高 松 市	番 町	四 番 丁 小		川 田 裕 史	0878-51-8390
760	"	亀 岡 町	亀 阜 小		高 橋 英 武	0878-61-2013
760	"	松 島 町	松 島 小	○	蓮 本 和 博	0878-61-4503
760	"	番 町	四 番 丁 小		亀 井 伸 治	0878-51-8390
763	丸 亀 市		城 乾 小		宮 武 順 一	0877-22-8158
763	"		城 坤 小	○	高 木 弘 信	0877-24-4705
762	坂 出 市	室 町	東 部 小		河 津 学	0877-46-0234
762	"	加 茂 町	加 茂 小	○	川 中 祥 照	0877-48-0601
761-41	小 豆 郡	土 庄 町	大 部 小		亀 山 久 嘉	0879-67-2120
761-41	"	土 庄 町	土 庄 小	○	羽 座 則 史	0879-62-0068
769-24	大 川 郡	津 田 町	津 田 小		古 市 聖 治	0879-42-2047
761-09	"	大 川 町	松 尾 小		八 木 育 夫	0879-43-3016
769-25	"	大 内 町	丹 生 小		三 好 憲 昭	0879-25-3504
769-29	"	引 田 町	相 生 小	○	高 田 宏 隆	0879-33-3627
761-08	木 田 郡	三 木 町	神 山 小		小笠原 学	0878-99-0254
761-16	香 川 郡	塩 江 町	塩 江 小		鎌 野 修	0878-93-0027
761-17	"	香 川 町	浅 野 小	○	長 谷 民 子	0878-89-0215
761-31	"	直 島 町	直 島 小		小比賀 隆 之	0878-92-3007
766	仲 多 度 郡	琴 平 町	琴 平 小		北 山 正 道	0877-73-2831
765	善 通 寺 市	文 京 町	中 央 小	○	岩 崎 保 雄	0877-62-1616
764	仲 多 度 郡	多 度 津 町	四 箇 小		森 井 信 一	0877-32-2517
761-24	綾 歌 郡	飯 山 町	飯 山 南 小		丸 野 昭 善	0877-98-2024
761-23	"	綾 上 町	羽 床 上 小		関 根 建 一	0878-78-0820
769-01	"	国 分 寺 町	国 分 寺 南 部 小		松 下 繁 美	0878-74-1160
761-23	"	綾 南 町	滝 宮 小	○	波 多 誠	0878-76-1183
761-21	"	綾 南 町	昭 和 小	○	有 岡 俊 文	0878-77-0519
768	観 音 寺 市	植 田 町	常 磐 小		大 西 孝 典	0875-25-2988
768	三 豊 郡	高 瀬 町	比 地 小		西 谷 則 一	0875-72-5213
768	観 音 寺 市	栗 井 町	栗 井 小	○	長 谷 川 剛	0875-27-6229
769-15	三 豊 郡	豊 中 町	上 高 野 小		安 藤 通	0875-62-2064

香社研連絡網



豊かにたくましく生きる人間づくりの教育

－ 生きる力の育成を図る総合学習，社会科学習の展開 －

香川県社会科教育研究会

<はじめに>

香社研では，次の3点を提案し研究テーマである「豊かにたくましく生きる人間づくりの教育」ということを明らかにしていきたい。

<学力観>では，新しい学力観とから「真の学力観」という視点に立つこと，

<教育課程の編成>では，総合学習の構想を，

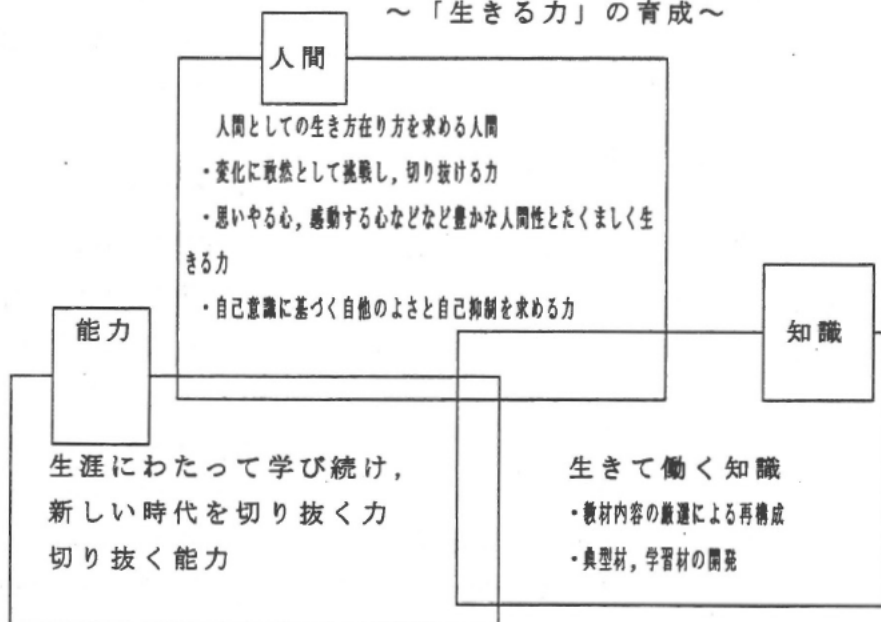
<授業研究の在り方>では，知識構造，学習材・典型材，操作，教材開発，学習内容の厳選，支援・援助を。

真の学力観～生きる力～の育成

1 真の学力を能力・人間・知識から観る

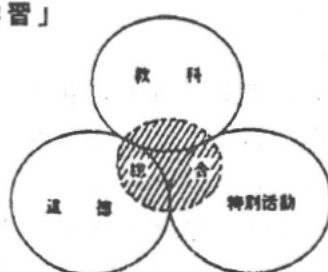
真の学力の構造

～「生きる力」の育成～



2 真の学力育成を目指す教育課程の編成

三領域を総合する「総合学習」



3 真の学力を育成する授業研究の課題

真の学力育成は、教科、道徳、特別活動の三領域を統合する総合学習を導入するとともに、それに伴う授業研究が大切である。

教育課程の編成～総合学習～

1 総合学習の構想

総合学習は教科や道徳の学習と同じように「単元化」を図ることが前提である。まず、課題があり、それを解決していく見通しをもつことから始まる。そして、課題が連続しつつ、目標を達成し解決していく一連の学習（活動）なのである。

2 総合学習の特色

(1) 三領域を総合する課題と体験の軸をもつ

例

教科中心	・ 地域の自然に課題や体験をもつ構想 ・ 地域の社会に課題や体験をもつ構想 ・ 地域の文化に課題や体験をもつ構想
道徳中心	・ 命を大切にするという課題や体験をもつ構想 ・ 豊かな心をもち、地域の人々と結びつく構想
特別活動中心	・ 奉仕や福祉活動、地域行事への実践化を強化する構想

(2) 表現物を作り上げることを目指す

(3) 子供が主体的に生きて働く実践を促す

3 教科統合について

(1) 関連と統合

総合学習は、教科、道徳、特別活動を統合するという意味と、単元化するにあたって関連と統合を図るという意味をもっている。この「関連」と「統合」づけについては右図により説明する。

関連づけは、図のように道徳と学級活動の流れに国語で学習したことを関連づけることである。また、統合づけは、図の（統合づけ①）のように統合学習の流れの中に位置づけるものと、（統合づけ②）のように、教科統合を図って位置づけるものとある。

ここでは、教科統合について詳しく述べたい。これは、総合学習に限って実践されることではない。

(2) 教科統合と教科等統合

教科統合については、子どもにとって、国語の時間も社会の時間も時間割によって内容が違ふというだけであって、1つの課題を解決していく、対象に働きかけていく力は国語とか社会とかの教科の枠をはずした（教科統合）学習で育成される。また、教科、道徳、特別活動の枠をはずした（教科等統合）学習で展開される。これは、子どもの知識構造の変容についての研究を深めれば深めるほど明らかなことである。

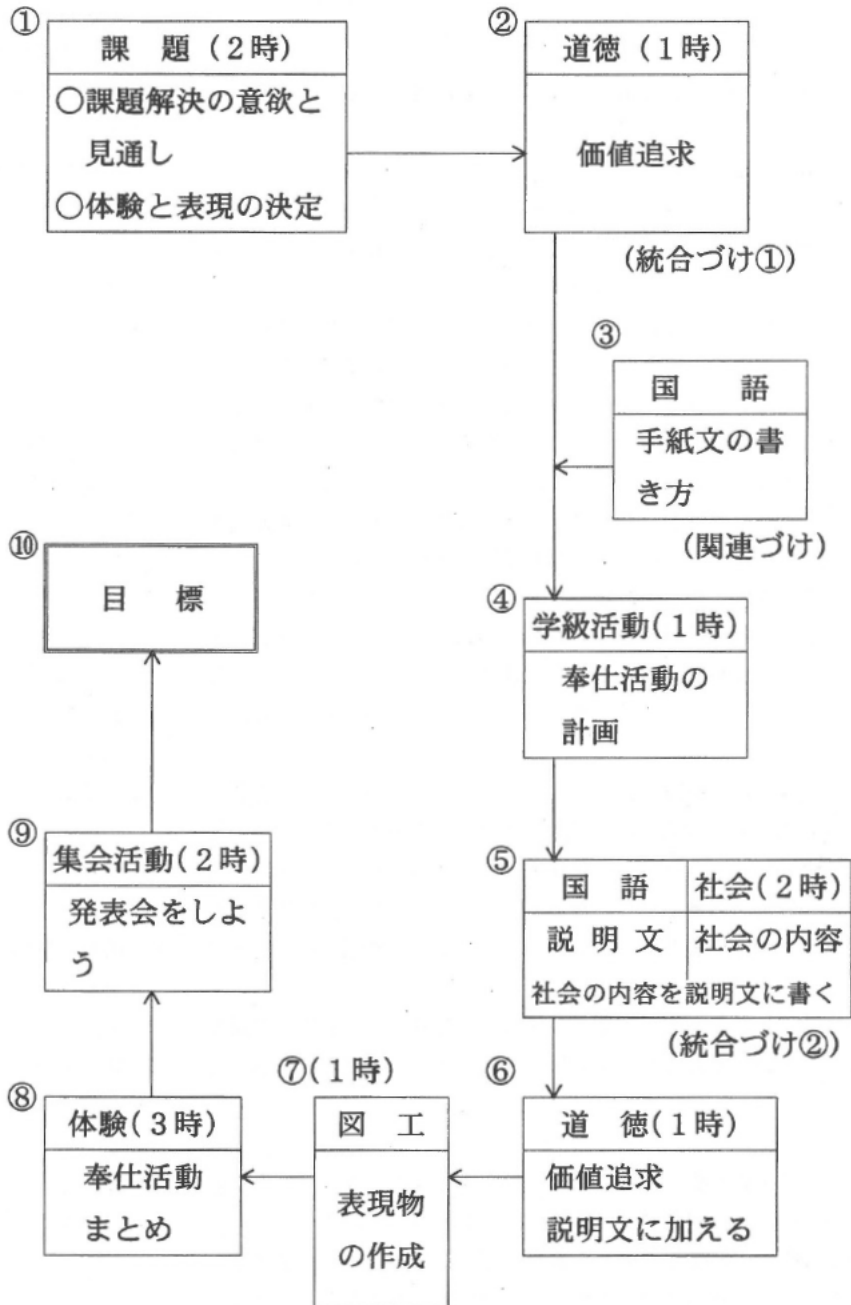
例を国語と社会の教科統合で説明しておこう。国語は「文章構成」理解の内容と「表現」の方法の2つの面をもつ。前者は、説明的文章や文学的文書についての文章の構成や作品の主題へのせまり方など内容についての理解を深めていくのであり、後者は事象についての自分の考えを文章に表現するという他の教科等の学習と結びついていくものである。社会は、社会事象についての内容を対象ににして理解を深めていくのである。

(3) 今後の課題

このことから分かるように、教科統合には、教科間の相互の内容を統合する内容統合と表現方法と内容を統合する方法統合があると考えられる。そして、いずれの場合も教科の目標を統合するわけであるから、教科統合の場合の目標の表し方が今後の課題だと思う。また、教科等統合も、教科統合の考え方に即して研究すべきであろう。教科統合や教科等統合は、学校週5日制の進行や総合学習を重視した教育課程を編成しようとすればするほど研究の重要性が強まってくるのではなかろうか。

総合学習 単元名「町を美しくしよう」

(13時間)



第3学年 教科統合学習指導案

(社会科・国語科)

指導者 喜多 文彦

1 単元名 地域に開かれた祭り — 高松市の祭りを調べよう —

2 単元について

(1) 課題意識が連続する単元化

子どもたちは、2年生のときに近くの秋祭りを見学し、その様子から学んで自分たちの収穫祭を行っている。市の人々の生活を自然環境のかかわりと移り変わりでみてきた3年生のこの時点で、「市全体には、他にどんな祭りがあり、どう変わってきているのか」を課題として、本単元を展開する。

個々に選択して市の各地で行われる祭りを調べ、それら相互を比較する過程で、似通っている部分、違っている部分があることに気付く。特に、その祭り独自のものの間に問いをもち、そこに願いがあるのではないかと考えたり、守り育てる人の働きとつないでとらえたりしていくのである。

展開にあたっては、絵巻物づくりを単元を通した表現活動とし、課題意識の連続を図るとともに、その中に個の知識構造の変容をとらえたい。

(2) 知識構造の変容を促すための支援・援助

子どもたちの知識構造は、「祭りが市各地で行われている」を出発に、自分なりの見方や具体的な事例、さらには自己認識をからみあわせながら「自分にもできることはないか」という心情の深まりをともなったものへと変容する。

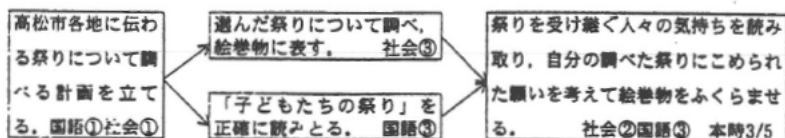
伝統が息づく祭りの様子を調べ、そこに生産や歴史とのかかわりを見付け、論理的な操作を主とする学習においては、社会科で進める。さらにその伝統を自らも受け継いでいこうという心を深めるために国語科の教材を取り入れ、登場人物の心の中を想像したり、情景を思い浮かべたりする感性的な操作を意識の流れに沿って位置付ける。このことで確かな知識構造の変容を求める。

また、絵巻物づくりにおいては、個の認知スタイルをイメージ型・言語型ととらえ、個のよさが生きる交流や資料操作の仕方について支援・援助したい。

3 目標

- (1) 地域を愛しその発展を願う人々の時代を超えても変わらない思いに共感し、自分たちも何か受け継いでいこうという心をもつことができる。
- (2) 市内に残るいくつかの祭りの中から選び、そこにこめられた生産や歴史とつながった人びとの願いについて考えて、絵巻物に表すことができる。

4 単元構想のあらまし (全13時間)



5 本時の学習指導

(1) ねらい

(2) 学習指導過程

《学習活動》

1 本時の学習問題を確認する。

(1) 市内各地の祭りの様子を交流して分かっていることについて話し合う。

(2) 調べの見通しを発表する。

2 自分の調べた祭りの他と違う点について調べる。

(1) 資料にあたって違うところを見つける。

- ・ 祭りの内容
- ・ 人の働き

(2) 調べたことをつないでその祭りがもつ意味をまとめる。

3 国語の教材文から絵巻物をどうふくらませるか学ぶ。

(1) 祭りを支える人の働きが分かる表現を見付ける。

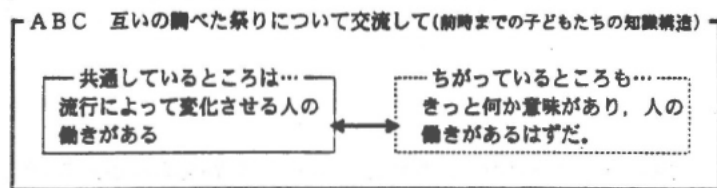
(2) 表現のよさについて話し合う。

4 自分の調べを振り返り、次時の見通しを立てる。

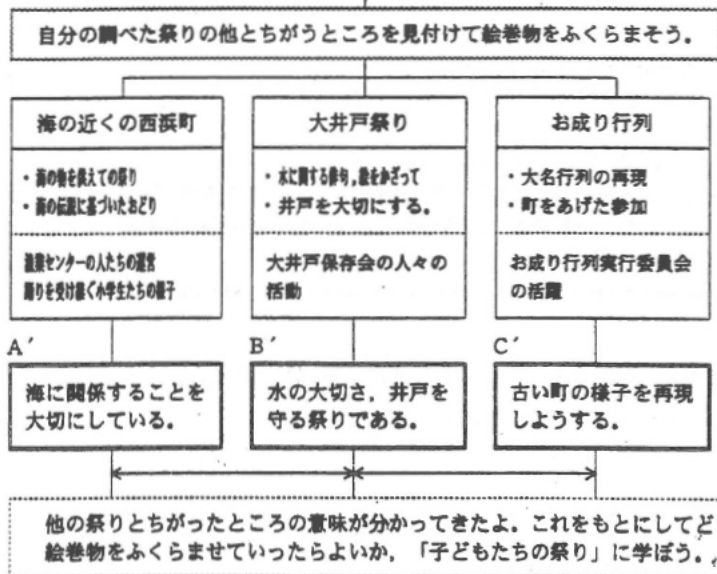
○自分たちの調べた高松市の各地に伝わる祭りは、生産や歴史とかかわりがあり、そこには伝統を受け継ぐとする人々の働きがあることに気付くことができる。

○国語科説明文「子どもたちの祭り」の心を伝える書きぶりに学び、自分の調べた祭りを支える人の気持ちを見付けて深めていこうとすることができる。

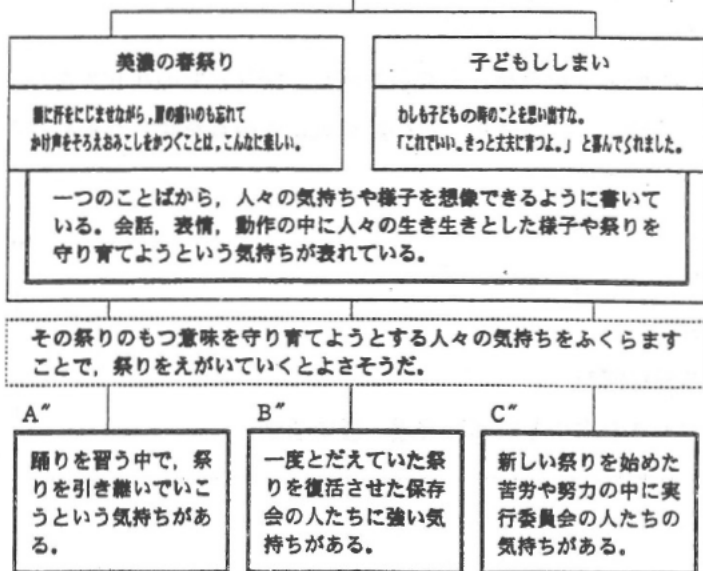
《主体的にかかわる認知の過程》



知識構造 I



知識構造 II



知識構造 III

《教師の支援・援助活動》

① 本時の見通しがもてるよう、前時に学習したことを適応して考えの道筋を整理する。

○調べる視点(祭りの内容・人の働き)を共通としつつも、表現方法を個に応じたものにすることを確認し、意欲化を図る。

② イメージ型の子どもには、機器の活用ができるよう環境を整え、映像を主に資料に当たれるようにする。言語型の子どもには、実際の文書資料などを自分なりに読み取れるようにする。

③ 知識構造に感性の土台を加えるために、国語科の説明文から心を読み取る。調べてきたことを絵巻物にどう表していくかをその動機とする。

④ 同じ表現から読みとる気持ちの違いを認め合える場を設定する。

⑤ 自分の調べの中にも祭りを受け継ぐ強い気持ちがあることを認め、次時への意欲につなぐ。

授業研究の在り方 ～ 知識構造、学習材・典型材、操作、教材開発、学習内容の厳選、支援・援助活動 ～

－ 豊かにたくましく生きる人間づくりをすすめる社会科学習 －

昨年度、夏季研修会で、平成10年度に開かれる全社研大会を目指した授業改造の視点を示した。

- I 学習内容の厳選による、教材の再構成を行う。
- II 授業に「ゆとり」をもって、いじめ対策に心した個に応じた授業展開を試みる。
 - ・ 子ども理解に立つ指導案を工夫する。
 - ・ 子どもの感性、感じ方を広げる支援・援助を工夫する。
 - ・ 子どもの成長過程の違いに目を向けた体験・表現重視による真の理解を図る。
 - ・ よさを生かし伸ばすことと、自己抑制の力を育てることの両立を図るため、「自己意識・自己理解」の究明をする。

豊かにたくましく生きる人間づくりを求める上での、真の学力の構造である、

生きて働く知識をもち

生涯にわたって学び続ける能力を備え

人間としての生き方、在り方を求める

を踏まえ、これからの社会科学習では、どのような理論と実践を展開し、授業研究の在り方を探っていけばよいのか。昨年度までの研究の経緯、上に挙げた今後の授業改造の視点を含めながら、その理論・実践の柱を

- 1 知識構造の変容を図る授業構成
- 2 人間の生き方・在り方を求める教材開発
- 3 豊かにたくましく生きる人間づくりを求める教師の支援・援助活動

と置いて、以下論を進めることにしたい。

1 知識構造の変容を図る授業構成

(1) 生きて働く知識は、能力との深いかかわりをもって育成される

知識については、知識の量的な偏りを改めなければならないとしても知識を軽視してはならない。

子どもの認知過程を探究すると思考力・表現力・判断力などの能力は、知識と深い関わりをもって育成される。記憶中心の知識ではなく、構造化された生きて働く知識としてである。

知識と能力との関わりは、能力を育てる知識と、新しい知識を得る能力の二つの側面をもつ。思考力・表現力などの能力は、子どもの発達を促す内容をもつ知識を媒介として育てられ、新しい知識を獲得していく。そして、その知識が生きて働く知識として、より高次の思考力・表現力などを育てていく。

このように、知識は、能力とともに生かされ、高められていくものであることから、貧弱な知識や情報では役に立たない。そして、この知識は、1時間の授業の過程でいうと、授業の初めの一人一人の子どもの知識構造と1時間の授業の終わりの知識構造とは、変容し、深化していなければならない。このような知識は、重視されるべきなのである。

(2) 生きて働く知識と能力を一体的に育てる学習材と典型材の組み合わせ

生きて働く知識は、豊かなイメージが描ける具体性をもつとともに、社会を観る尺度としての概念となることの両方を備えていなければならない。

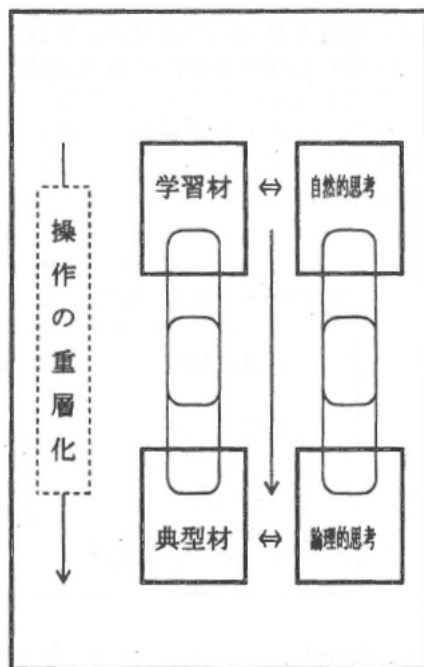
昨今、能力育成を重視した教育の改善が、各地で実践されているところである。しかし、従来の知識・理解中心の授業と変わっていないのが、取り扱う「教材」であり、「教材の考え方」である。

確かに、基礎・基本の内容を獲得していくことを重視した授業においては、教科書教材を「典型材」として重視してきた。このことは大変重要な「教材」の一面である。

しかし、新しい学力観に立つ能力育成を重視した授業においては、思考力・表現力・判断力を育成するのにふさわしい「教材」の考え方が成立しなければならない。

子どもが意欲をもち、個の能力に応じた取り組みができるより具象性のある『教材』が必要なのである。

この教材を学習材と呼ぶことにする。



このように、教材を「典型材」と「学習材」とから見ていきたい。

教育事典によると教材とは、「一定の教育目的を達成させるために選択された教育の具体的内容、文化的素材であり、あるいは、それを学習に適するように再構成し直したもの」と定義されている。

こう考えると、「典型材」は、一定の概念を得る教材である。

「学習材」は、具体事象をもとに 学びの能力を育成する教材と言える。内容的には、「地域性」「生活性」「文化性」をもつこと、方法的には、「学び方・操作方法」を工夫することができることを要件としたい。

学習材から典型材へと具体から抽象の道を歩む中で、子どもの知識は構造化していくのである。

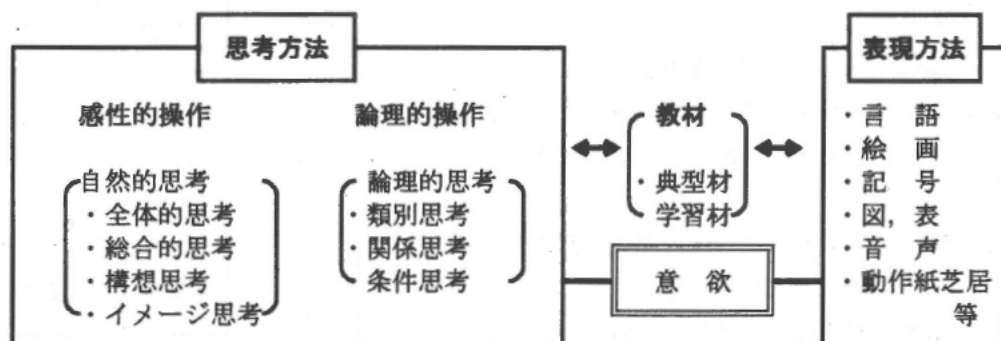
- | | |
|--------------------------------------|--|
| ① 教材のままでは、個の能力に応じた取り組みはできない。 | 個が開けかけ
働きかける学
習材になって
いるかどうか
を吟味するこ
とが重要であ
る。 |
| ② 学習材になるか、どうかの吟味が大切
(地域性、生活性、文化性) | |
| ③ その学年の発達段階を踏まえた教材、学習材への加工 | |

授業は、この「典型材」と「学習材」との組み合わせにより、「生きて働く知識」と「生涯にわたって学び続け、時代を切り開く能力」の一体的な育成の道が開けてくると考える。

(3) 感性を重視した思考と表現の組み合わせ

① 論理的操作と感性的操作の開発

生きる力を育成する一つの柱として能力の育成があることは、先に述べたとおりである。この能力の中で、思考力と表現力の育成が要とされており、教材（典型材と学習材）を媒体にして、思考力は思考方法の工夫によって、また表現力は表現方法の工夫によって育成される。その全容を明らかにしたのが下図である。



図の解説をしておこう。対象（教材）に対して働きかけ思考することが表に出てくるのは、表現物によってであり、表現しながら思考は高まっていく。思考と表現は一体的なものである。その思考方法で思考しつつ、表現方法で表現していく過程が「操作」である。「操作」は、思考と表現の一体的な作用といえる。

この「操作」には二通りあると考えたい。一つは「論理的操作」であり、もう一つは、「感性的操作」である。前者については、本部会が常に研究の対象とし、実践を積み重ねてきたところである。「比べる」「つなぐ」「かえる」の言葉で示される論理的操作については、ここでは、解説を控えたい。課題は、後者である。

②感性的操作について

「感性的操作」は、自然的思考といわれるように、全人格的な思考であり、その人の人柄思考ともいえよう。しかし、この自然的思考力の育成は、これまで意図的に開発されていない分野である。特に、最近のいじめ問題をはじめとする心の問題についても授業を通して思考力を育てることは、たいへん重要と考える。

感性的操作の必要性を具体的に挙げて説明してみよう。次の文は、教科書から選んだ文である。

高速道路が開通して、物を運ぶのに短時間で大量の荷物を送ることができるようになりました。

この事例は、対象を客観的にとらえた論理的な言葉で表現されている。それだけに冷たさを感じるし、自分とか相手とかの人間としてのかかわりが感じられない。本当にこのことを理解する・認知するためには、「自分を思い」、「相手を思い」、「対象物を思う」感情をともなった感性の言葉が必要なのである。この感性の言葉を掘り起こさないで、教師が教師の思いを尺度にして子どもを見ようとし、理解の程度を図ろうとして授業を展開しているのが現状とも言えるかもしれない。

上記の例でいえば、高速道路が開通して便利になったとすることの論理操作だけでよいが課題なのである。ここでは、どうしても、ここに道路ができる前の土地の様子や生活している人々の様子や気持ち、道路ができて自然環境に変化が起きた気持ちなどの「感情を言語に表し、それをもとに操作すること」が大切になってくる。

現在の授業研究の在り方を反省的に見つめたとき、この感性的操作の重要性が今後の課題として浮かび上がってくるのである。

③豊かな感情を伴った思考操作

これまで、思考と表現を組み合わせた活動の中で、主体的に自らの考えを気づきあげていく能力を育成しようとしてきた。ただ、そのことに豊かでたくましく生きるという視点を忘れてしまうと、つい冷たい学習になっていく。

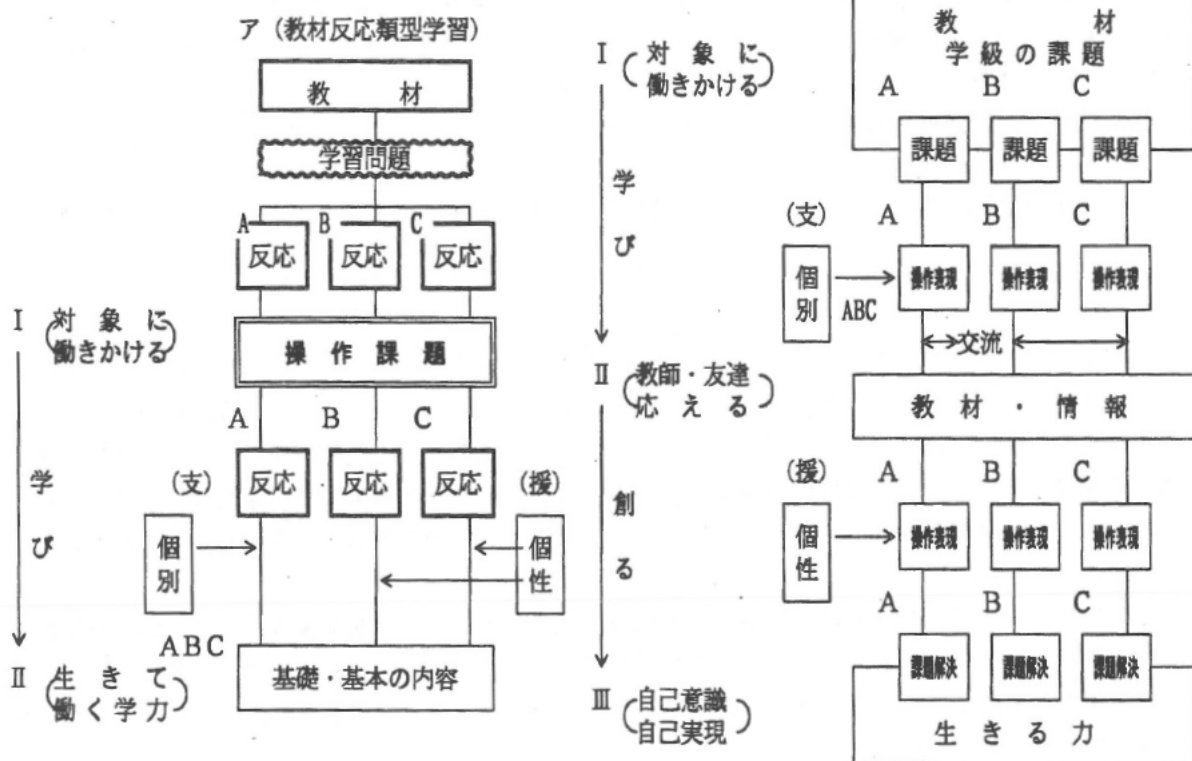
「事実としての事項と事項をつないで新たな考えを作り出そうとすること」にカード操作の学習が終始してしまうと、そこには人間としての生き方や在り方の入り込む隙間はなくなってしまう。

1枚、1枚のカードに豊かなイメージや人間の物語、それに対する自分の思いや、願いを含めていく。一見すると無味乾燥な記号の背景に感情や気持ちを移入していく。多様な表現と同時に、そこに思いや願いを含めていくことで、知識や能力の育成によって人間としての生き方・在り方を求める学習となっていくと考える。

(4) 学習類型と知識構造について

真の学力を育成するには、個に応じた学習として、指導の個別化と学習の個性化を図っていかねばならない。教材や学習課題のちがいによって子どもの認知過程が異なることから、いくつかの学習類型が考えられる。

ア 教材反応類型学習、イ 課題解決学習、ウ 課題選択・設定学習 の三つを、その類型として考えたい。



アは、教材に対し操作をしながら知識構造を深めていく「学び」中心の学習である。

イは、「学び」から「創る学習」への過程により、自己意識・自己実現を高める学習である。

ウは、課題を選択したり設定したりして個性重視の学習を進める類型である。

子どもの認知過程は、知識構造の変容でとらえることができる。知識を生きて働く知識ととらえるのが知識構造である。生きて働く知識は、因子、すなわち基礎的・基本的事項の関係付け、構造付けによって概念とすることによってうみだされる。このようにして得られた知識は、事項がかわっても、また、新たに事項が加わっても転移できる。

このように構造づけた知識を知識構造といい、1時間の授業、認知過程は知識構造の変容、深化としてとらえられる。なお、この知識は、概念を構成する内容としての知識と、関係付け構造付ける方法の知識という二面性をもつ。

2 人間の生き方・在り方を求める教材開発

(1) 学習内容の厳選による、教材の再構成

「生きる力」の育成を基調とする教育をすすめるには「ゆとり」のある教育課程を編成することが不可欠であり、学習内容の厳選を図る必要がある。すでに述べた総合学習の展開も社会科の教材再構成と切り離して考えることはできない。真の学力の構造をふまえ、生きる力を育成するという基本的な考えに立って、厳選をどのような点から考えていけばよいか、そのいくつかを挙げておきたい。

- ・ 「不易」と「流行」を見つめた、教材化の視点の明確化（次項で詳述する）
- ・ 小中の関連をどのように考えるか
- ・ 学校外における学習活動との関連を考慮する
- ・ 教科統合、教科等統合の研究
- ・ 「易から難」、「単純から複雑」、「近いから遠い」を例にした教材の配列を見直す（子どもの認識の系列について再考する）
- ・ その学年の中で単元間の関連を見直し、異なる学年で単元間の関係を図る（「学ぶ学習」と「創る学習」）

(2) 社会の変化を見通した教材開発の視点

これからの社会を展望したときに、我が国の社会は様々な面での急速な変化が予期される。それらの変化に対応する教育の在り方が当然模索されるべきである。

反面、教育においては、どんなに社会が変化しようとも「時代を超えて変わらないもの」を大切にしないではならない。

社会の進展の中で「不易」と「流行」を十分に見つめつつ、教材として具現化していくことで、これからの生きる子どもたちの生き方や在り方となって身に付いていこう。「国際化、情報化、科学技術の進展等の変化」に対応すること、また、「我が国の歴史や伝統への愛情や、豊かな人間性を希求し、人権を尊重する心」を培うということなど、今の教育、また社会科に託された役割から、教材開発にあたっては次の五つの視点を大切にしていきたい。

国際化	国際化社会が進展し、世界の中の日本人としての生き方が、求められている。広い視野をもち、異文化を理解するとともに、これを尊重する態度や異なる文化をもつ人々と共に生きていく資質や能力の育成を図ることが必要である。
情報化	様々な情報が氾濫し、マルチメディア時代となる将来、情報を主体的に処理する力が求められている。情報及び情報手段を主体的に選択し活用していくための個人的な能力、並びに人間関係の希薄化など情報化の陰の部分も勘案できる資質等の育成が求められる。
環境	環境問題については、国内の環境に留まらず、地球環境の危機としてとらえなければならない状況となっている。学校教育では、かけがえのない国土や地球の環境に目を向け、人間と自然が共生していく地球としていくために具体的な行動をとる子どもの育成が望まれている。
人間化	子どもたちが将来自己実現を図りながら、変化の激しい社会で生きていく上での基準となる生き方の形成が求められる。豊かな人間性、正義感や公正さを重んじる心、自己を律しつつ他者と協調するなどの心を導くことができるような人間として育てていくことが重視されている。
文化	我が国が形成されてきた歴史、先達が残してくれた芸術、文学、民話、伝承などを学び、これらを大切にしていこうとする心を養うこと。また、それを現代に生かし、新たな文化の創造者として生きていこうとする資質の育成が求められる。

(3) 人間観を育てていく教材

社会科で目標とされる内容についての知識や方法についての知識をもとにして、人間についての知識の重視が求められている。社会の変化を見通す教材の視点とともに、生き方や在り方自体がそこに物語られている教材の開発を目指したい。

歴史学習を例にとってみる。いくつかの事象をつないで時代の移り変わりに対して思考操作を行い、自分の考えを創り上げていく。その学習の中に、「その時代を生きた人にも、様々な悩みがありそれを乗り越える工夫や喜びがあったはずである」と、そのような人間の心のはいったドラマが描かれていけば、そこから子ども達は一人の人間の生き方や在り方を考えていけるはずである。時代をたくましく生きる姿に感動し、自らが生きる血や肉にしていけるはずである。

学習方法の中で、自分で自分を育てよう、たくさんの友だちの中で育てようという姿勢で学習方法を見直すとともに、もっと積極的に人間としての生き方を、感動とともに考えられる教材の開発を考えようというのである。

このことが、子どもたちに、人間としての生き方・在り方を見いださせることにつながると考える。

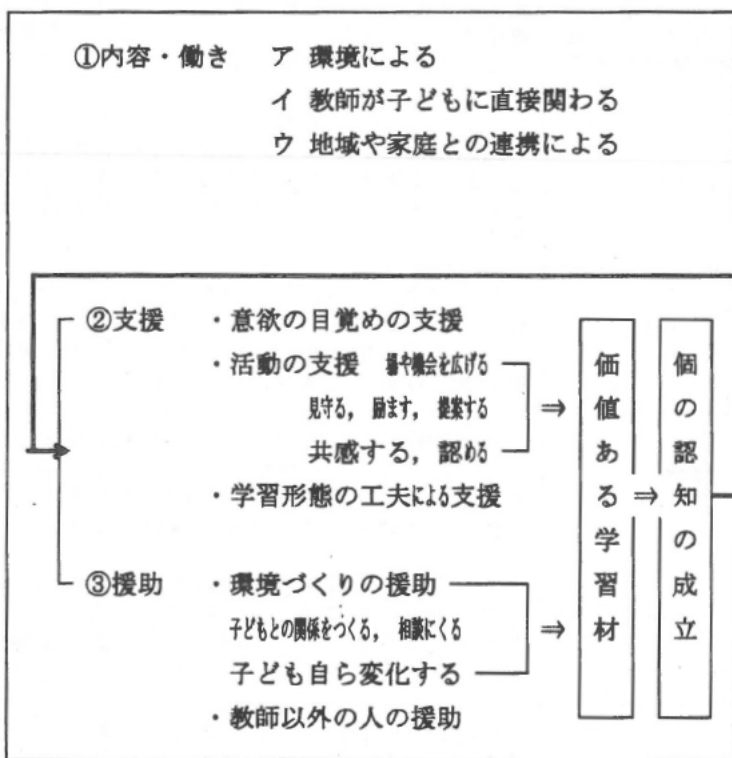
3 豊かにたくましく生きる人間づくりを求める教師の支援・援助活動

(1) 支援・援助活動の態様

教師の支援・援助というと、すぐに児童に直接助言を与えることだと考えがちである。

確かに教師の支援・援助は大きな役割を占めている。ただ、支援・援助活動は、他の児童の相互交流の場を設定したり、環境づくりを行ったりするような間接的なものも含めて幅広いものととらえたい。

このような支援・援助をもとにしつつ、価値ある学習材を媒介にして、自分のよさや不十分な点を友だちの学びや、教師の整えた環境の中から見いだしていくのである。与えられるのを待つのではなく、自らが求めていく子どもの学びの姿を求めたい。



(2) 自己意識を育てる自己評価・個のスタイル

自己意識は、「自分自身の考えや行動」，「長所や短所」，「社会的な立場や役割」，「自分自身の五感を通して感じたこと」，「周囲の人々からの期待感や不信感」など，自分自身を意識することである。

この自己意識は，子どもの自主的・自発的な活動の中で育てられ，高められる。教師は，その子らしさを発揮する活動の中で，方向付けたり秩序付けたりという支援・援助活動をすることが肝要となる。

① 自己意識を育てることの効用

- ・ 自己意識が高まると，自分自身に関係のある内容についての認知は深まり，行動が積極的になる。
- ・ 自己意識が高まると，自己を高揚するよう記憶し，認知し，思考し，行動し，高い自己評価をしようとする。
- ・ 自己意識が高まると，自己の否定的な面を自らの体験によって修正しつつ，自覚的に自己実現を図ろうとする。

② 自己意識を育てる要因と過程

要 因

- ・ 自己評価を高める。（評価の観点としては，肯定的なもの「自信・誇り・自己受容など」，否定的なもの「わがまま・消極的・抑制力不足など」が挙げられる。）
- ・ 言語的コミュニケーション・行為の役割表現による他者理解
- ・ 認知スタイルや学習スタイルなど個のスタイルに応じた支援・援助活動

過 程

【自己を知る】

- ・ 一人一人が見たことや感じたことにちがいがあることに気づく。
- ・ 考えていることや感じていることを他の人に説明する。

【自己を深める】

- ・ 実感や本音が出せるような体験をする。
- ・ 自分にとって意味のある体験と思うことを他の人と交流する。
- ・ 自分の認識したこと，感じたことから，自分を意識する。

第6学年 社会科学学習指導案

指導者 旅田 敏弘

研究主題 「生きる力」の育成を図る社会科学学習の展開

1 単元名 地球サミットを開こう

2 単元について

(1) 課題意識が連続する単元化

地球的規模の環境破壊への関心が世界的に高まり、国連は、1992年6月ブラジルのリオデジャネイロで、地球的規模での環境問題を討議する「国連環境開発会議」を開いた。加盟各国の大統領や首相クラスが参加するため、「地球サミット」とも呼ばれている。

地球的規模での環境問題（温暖化、砂漠化、オゾン層の破壊、森林破壊、酸性雨）については、5年の社会や6年の理科で学習したり、国連の働きについても6年で学習したりしている。そして、環境破壊については森林伐採、工場排水、フロンガスなどの急激な工業の発達や大量消費に原因があり、豊かな経済力と技術力をもつ日本にもその解決策を示すことが求められている。日本が、今後どうすればいいのかを子どもサミットで提案したり、討論したりし、地球環境マップに加えていくことで課題意識の連続を図りたい。

(2) 知識構造の変容を促すための支援・援助

地球環境マップをつくりながら地球的規模での環境問題について、理解が深まるよう個やグループに応じた資料を提供したり、相談活動をしったりしておく。その中で急激な工業の発達や大量消費に原因があり、その対策が先進国や開発途上国から求められていることに課題意識がもてるように助言していく。

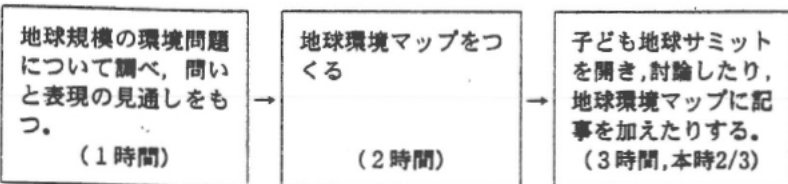
そして、子どもサミットでは、日本は国際社会にどう貢献していけばよいのかを議題として話し合う。教師も日本に求められていることの情報を提供し、子どもたちの、国際社会の一員としての自覚が深まるよう支援・援助していききたい。

3 目 標

(1) 地球サミットについて調べ、地球規模での環境破壊を防ぐために国際連合という組織や各国の人々が努力・工夫していることや日本は大量消費の見直しや地球にやさしいくらしの工夫が必要なことが分かる。

(2) 地球環境マップを表現していくことで、自分の環境についての考えを高めていくことができる。

4 単元構想のあらまし（全6時間）



5 本時の学習指導

(1) ねらい

(2) 学習指導過程

《学習活動》

1 地球環境マップを見て、本時の課題を確認する。

2 子ども地球サミットを開き改善策を討論する。

(1) 改善策について提案する。

(2) 提案されたことについて討論する。

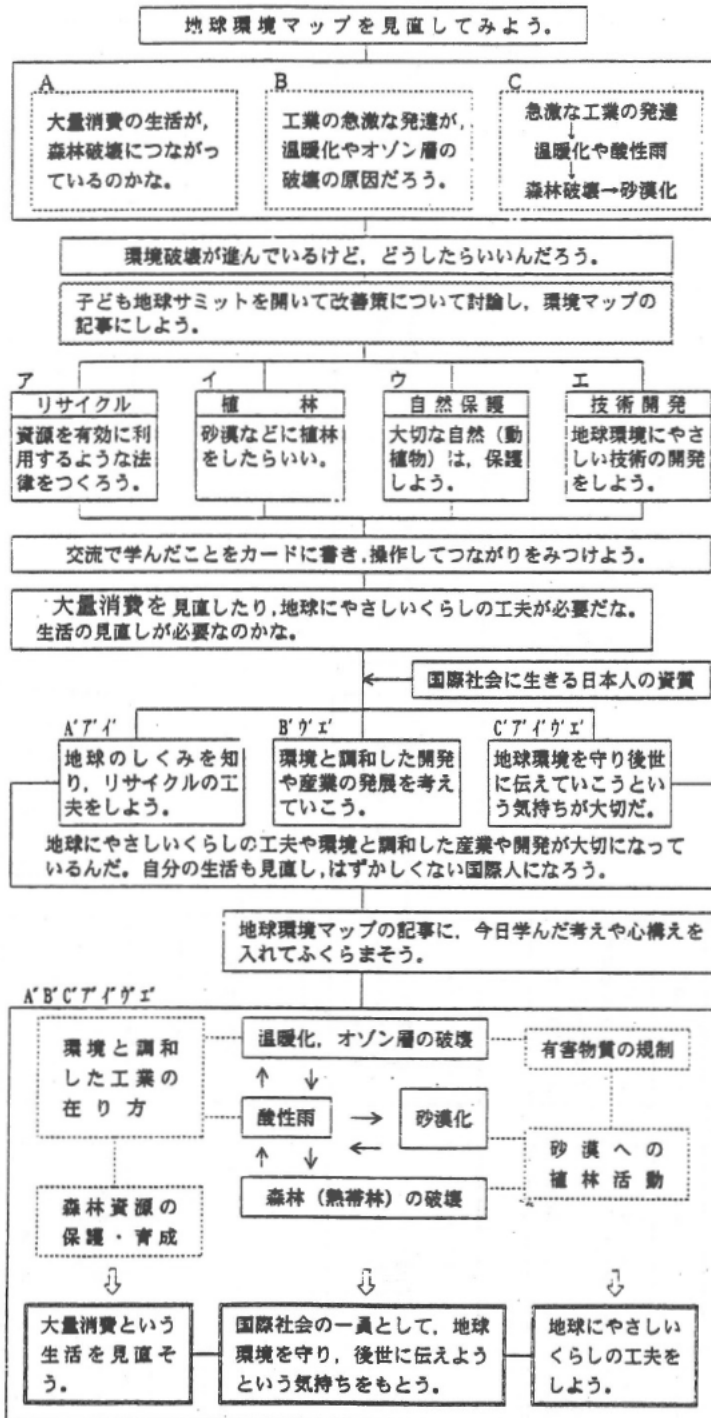
(3) 日本に求められていることについて教師の話を聞く。

3 自分の考えを見直し記事にする。

4 記事を環境マップに加えて、相互評価したり、自分の伸びを自己評価したりする。

- 環境破壊についての改善策について地球サミットを開き討論し、大量消費の見直しや地球にやさしいくらしの工夫や気持ちが必要なことが分かり、記事に書くことができる。

《主体的にかかわる認知の過程》



知識構造 1

《教師の支援・援助活動》

㊦ 前時までに子どもたちの地球環境マップの表現から、個の知識構造をつかんでおき、個に応じた支援・援助を用意しておく。

㊧ 改善策についての提案の仕方を子どもと相談しておき、その子やグループの考えや表現のよさが生かされるよう環境設定の援助をしておく。

㊨ 友達への考えのよさに学んだり、友達の意見を取り入れて自分の考えを修正することの大切さを話し、交流への意欲がもてるよう支援する。

○大量消費という生活を見直したり、地球にやさしいくらしの工夫を心がけることの重要性が分かるように、カードの仲間分けについて個別に支援したい。

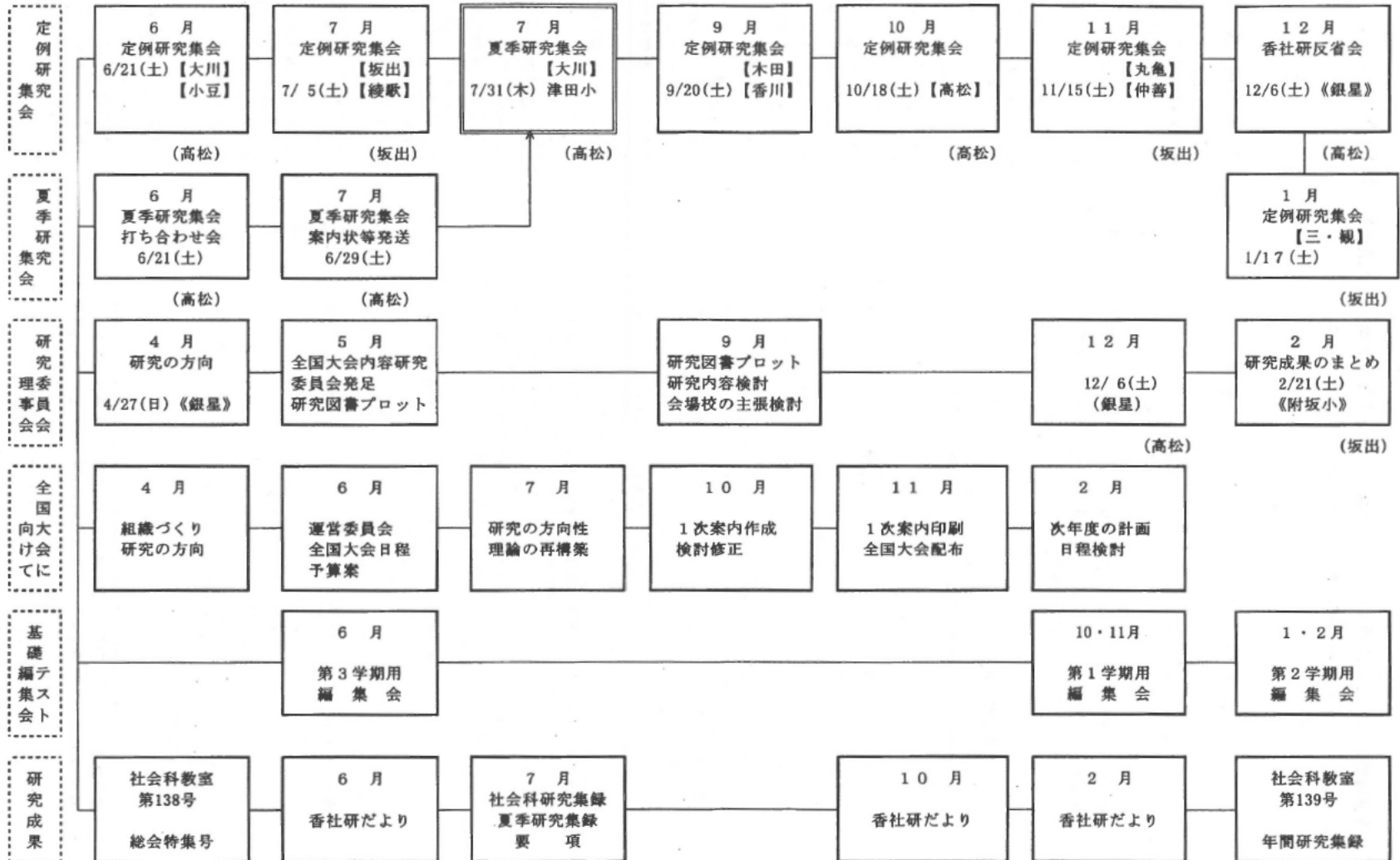
㊩ 大量消費を見直したり、地球にやさしいくらしの工夫の事例を紹介することにより、自分の生活を見直そうという意欲を高め、記事にしていこうよう助言する。

㊪ 環境マップに記事を加えていき、加わった記事の内容や表現のよさを相互評価したり、自己評価したりして、自分の伸びが自覚できるよう援助する。

○国際社会の一員として、どのような生き方をするのかということを問い直し、これからの生き方の指針とするよう助言する。

知識構造 2

平成9年度の年間計画



平成9年度 郡市社研役員名簿

【高松社研】

役員名	氏 名	職名	勤務校	学 校 住 所	電 話
会 長	川 田 裕 史	長	四 番 丁 小	高・番町1丁目5番1号	0878-51-8390
副会長	伴 文 夫	"	亀 阜 小	高・亀岡町10番1号	0878-61-2013
	上 川 敦 生	"	木 太 小	高・木太町3480番地1号	0878-61-6337
	上 枝 幸 紀	"	屋 島 西 小	高・屋島西町2469番地	0878-41-1063
庶 務	蓮 本 和 博	論	松 島 小	高・松島町2丁目14番5号	0878-61-4503
	亀 井 伸 治	"	四 番 丁 小	高・番町1丁目5番1号	0878-51-8390
	上 井 嘉	"	亀 阜 小	高・亀岡町10番1号	0878-61-2013
会 計	大 橋 けい子	"	新塩屋町小	高・末広町5番地	0878-51-2011
研究部	横 井 裕 子	論	亀 阜 小	高・亀岡町10番1号	0878-61-2013
	岡 本 英 孝	"	新塩屋町小	高・末広町5番地	0878-51-2011
	金 崎 美 穂	"	亀 阜 小	高・亀岡町10番1号	0878-61-2013
	池 田 理 恵	"	四 番 丁 小	高・番町1丁目5番1号	0878-51-8390

【丸亀社研】

役員名	氏 名	職名	勤務校	学 校 住 所	電 話
会 長	宮 武 順 一	校長	城 乾 小	丸・中府町五丁目15番1号	0877-22-8158
副会長	香 川 佳 和	教頭	飯 野 小	丸・飯野町西分93番地	0877-22-6019
庶 務	多 田 明 広	教諭	城 南 小	丸・田村町973番地	0877-24-6177
会 計	樋 口 昌 樹	教諭	郡 家 小	丸・郡家町790番地1	0877-28-8401
研究部	山 野 正 登	教諭	城 坤 小	丸・今津町348番地	0877-24-4705
	平 澤 昌 司	"	垂 水 小	丸・垂水町1408番地	0877-28-7551
	石 川 裕 之	"	小 手 島 小	丸・広島町小手島2782	0877-29-2031
	藤 六 健	"	城 乾 小	丸・中府町五丁目15番1号	0877-22-8158

【坂出社研】

役員名	氏 名	職名	勤 務 校	学 校 住 所	電 話
会 長	河 津 學	校長	東 部 小	坂・室町1-1-21	0877-46-0234
副会長	曾 根 照 正	"	中 央 小	坂・寿町3-1-2	0877-46-2149
	井 上 勝 之	"	金 山 小	坂・谷町3-1-23	0877-46-2329
	丸 野 忠 義	"	王 越 小	坂・王越町木沢211	0877-43-0104
	木 本 珠 城	"	西 庄 小	坂・西庄町524-2	0877-46-2662
	大 前 正 昭	"	林 田 小	坂・林田町2191	0877-47-0270
	森 口 訓 行	"	櫃 石 小	坂・櫃石585-17	0877-43-0203
庶 務	川 中 祥 照	教諭	加 茂 小	坂・加茂町1099	0877-48-0601
会 計	吉 田 和 弘	教諭	東 部 小	坂・室町1-1-21	0877-46-0234
研究部	寺 嶋 俊 秀	教諭	中 央 小	坂・寿町3-1-2	0877-46-2149
	野 村 亮 子	"	西 部 小	坂・白金町1-3-7	0877-46-2149

【小豆社研】

役員名	氏 名	職名	勤 務 校	学 校 住 所	電 話
会 長	亀 山 久 嘉	校長	大 部 小	小・土庄町大部甲1975	0879-67-2120
副会長	藤 川 治 之	"	池 田 小	小・池田町池田1760	0879-75-2222
	池 田 孝 徳	教頭	洩 崎 小	小・土庄町洩崎甲1256	0879-62-0072
庶 務	羽 座 則 史	教諭	土 庄 小	小・土庄町甲657-7	0879-62-0068
会 計					
研究部	井 上 泉	教諭	豊 島 小	小・土庄町豊島家浦2516	0879-68-2020
	竹 内 久 司	"	星 城 小	小・内海町草壁本町632	0879-82-2011
	役 重 和 雅	"	安 田 小	小・内海町安田甲472	0879-82-2012
	池 田 茂 樹	"	福 田 小	小・内海町福田甲718-1	0879-84-2023

【大川社研】

役員名	氏 名	職名	勤 務 校	学 校 住 所	電 話
会 長	古 市 聖 治	校長	津 田 小	大・津田町津田144	0879-42-2047
副会長	西 尾 英 一	"	北 山 小	大・津田町津田3645-5	0879-42-2134
	八 木 育 夫	"	松 尾 小	大・大川町田面126-1	0879-43-3016
庶 務	佐 藤 正 之	教頭	造 田 小	大・長尾町造田是弘688-1	0879-52-2141
	高 田 宏 隆	教諭	相 生 小	大・引田町南野204	0879-33-3627
	松 村 和 仁	"	北 山 小	大・津田町津田3645-5	0879-42-2134
会 計	大 高 哲 也	"	造 田 小	大・長尾町造田是弘688-1	0879-52-2141
研究部	大 高 哲 也	教諭	造 田 小	大・長尾町造田是弘688-1	0879-52-2141
	橋 本 義 人	"	五 名 小	大・白鳥町五名1400	0879-25-3994
	松 村 和 仁	"	北 山 小	大・津田町津田3645-5	0879-42-2134
	梅 本 明 宏	"	志 度 小	大・志度町大字志度727	0879-94-0041

【木田社研】

役員名	氏 名	職名	勤 務 校	学 校 住 所	電 話
会 長	今 雪 純 意	校長	牟 礼 小	木・牟礼町大町1560	0878-45-9239
副会長	山 下 晃	教頭	庵 治 小	木・庵治町790-1	0878-71-2581
庶 務	小笠原 学	教諭	神 山 小	木・三木町987	0878-99-0254
会 計	久 保 英 子	教諭	牟 礼 小	木・牟礼町大町1560	0878-45-9239
研究部	泉 聡	教諭	白 山 小	木・三木町下高岡352-1	0878-98-0257
	檜 原 一 宏	"	白 山 小	木・三木町下高岡352-1	0878-98-0257
	亀 井 可奈子	"	牟 礼 北 小	木・牟礼町牟礼2900-1	0878-45-5742

【香川社研】

役員名	氏 名	職名	勤 務 校	学 校 住 所	電 話
会 長	鎌 野 修	校長	塩 江 小	香・塩江町安原上東365	0878-93-0027
副会長	西 康比古	教頭	直 島 小	香・直島町1600	0878-92-3007
庶 務	小比賀 隆 之	教諭	直 島 小	香・直島町1600	0878-92-3007
会 計	長 谷 民 子	教諭	浅 野 小	香・香川町浅野3088	0878-89-0215
研究部	長 谷 民 子	教諭	浅 野 小	香・香川町浅野3088	0878-89-0215
	小 原 敏 昭	"	大 野 小	香・香川町大野1045-1	0878-85-2165
	前 田 宏 之	"	香 南 小	香・香南町横井461	0878-79-2269

【綾歌社研】

役員名	氏 名	職名	勤 務 校	学 校 住 所	電 話
会 長	丸 野 昭 善	校長	飯 山 南 小	綾・飯山町上法軍寺1206	0877-98-2024
副会長	関 根 建 一	"	羽 床 上 小	綾・綾上町羽床上788-1	0877-78-0820
庶 務	松 下 繁 美	教頭	国分寺南部小	綾・国分寺町福家甲3005	0877-74-1160
	波 多 誠	教諭	滝 宮 小	綾・綾南町滝宮1100	0877-76-1183
	有 岡 俊 文	"	昭 和 小	綾・綾南町増田2381	0877-77-0519
会 計	末 澤 康 彦	"	富 熊 小	綾・綾歌町富熊122	0877-86-2010
研究部	眞 井 孝 征	教諭	国分寺南部小	綾・国分寺町福家甲3005	0877-74-1160
	花 房 長 広	"	滝 宮 小	綾・綾南町滝宮1100	0877-76-1183
	宇 山 知 昌	"	国分寺北部小	綾・国分寺町新居1880	0877-74-1154
	高 吉 直 之	"	昭 和 小	綾・綾南町増田2381	0877-77-0519

【仲善社研】

役員名	氏 名	職名	勤 務 校	学 校 住 所	電 話
会 長	北 山 正 道	校長	琴 平 小	仲・琴平町145-1	0877-73-2831
副会長	森 本 義 臣	教頭	琴 南 西 小	仲・琴南町造田1984-1	0877-85-2010
庶 務	岩 崎 保 雄	教諭	善・中央小	善・文京町4-5-1	0877-62-1616
	森 井 信 一	"	四 箇 小	仲・多度津町三井433-1	0877-32-2517
会 計	小 林 規 子	教諭	多度津小	仲・多度津町栄町三丁目1-9	0877-33-1616
	中 浦 和 子	"	善・南部小	善・生野町2990-1	0877-62-0702
研究部	森 昭 二	"	善・東部小	善・稲木町450-1	0877-62-0703
	山 田 泰 二	"	豊 原 小	仲・多度津町南鴨704	0877-32-2050
	山 内 秀 則	"	琴 平 小	仲・琴平町145-1	0877-73-2831
	川 田 真 司	"	仲 南 西 小	仲・十郷追上下大口20	0877-77-2310

【三豊社研】

役員名	氏 名	職名	勤 務 校	学 校 住 所	電 話
会 長	大 西 孝 典	校長	常 磐 小	観・植田町365	0875-25-2988
副会長	西 谷 則 一	"	比 地 小	三・高瀬町比地93	0875-72-5213
	藤 田 美代子	"	大 見 小	三・三野町大見甲3034	0875-72-5402
庶 務	安 藤 通	教諭	上 高 野 小	三・豊中町上高野2384	0875-62-2064
	白 杵 優	"	詫 間 小	三・詫間町詫間2158	0875-83-2858
会 計	大 西 久美子	教諭	大 野 小	三・山本町大野457-1	0875-63-2009
	近 藤 あけみ	"	豊 浜 小	三・豊浜町和田浜1000	0875-52-2029 52-2151
研究部	木 村 勝 美	"	箱 浦 小	三・詫間用箱551-1	0875-84-7356
	岩 倉 隆 視	"	豊 浜 小	三・豊浜町和田浜1000	0875-52-2029 52-2151
	赤 坂 光 敏	"	一ノ谷小	観・古川町102-1	0875-25-0204
	長谷川 剛	"	栗 井 小	観・栗井町1452	0875-27-6229

【高 松 市】

	学 校 名	氏 名	担当学年
定 例 会	① 松 島 小	蓮 本 和 博	6 年
	② 川 岡 小	藤 本 一 郎	5 年
	③ 亀 阜 小	上 井 嘉	6 年
女 子 部	① 川 岡 小	黒 川 紀 子	4 年
	② 亀 阜 小	金 崎 美 穂	5 年
	③ 四 番 丁 小	池 田 理 恵	6 年
研 究 部	① 亀 阜 小	横 井 裕 子	院内学級
	② 四 番 丁 小	亀 井 伸 治	6 年
	③ 新 塩 谷 町 小	岡 本 英 孝	5 年
基 礎 ス ポ ー ツ 部	① 木 太 小	南 原 志 伸	6 年
	② 香 西 小	葛 西 秀 樹	5 年
	③ 鶴 尾 小	黒 川 浩 一	3 年
	④ 四 番 丁 小	大 嶋 和 彦	4 年
	⑤ 亀 阜 小	熊 野 真 美	4 年

【丸 亀 市】

	学 校 名	氏 名	担当学年
定 例 会	① 城 乾 小	越 智 紳 一 郎	6 年
	② 城 西 小	氏 家 雅 子	4 年
	③ 城 辰 小	長 原 朱 実	4 年
女 子 部	① 城 北 小	長 尾 純 子	6 年
	② 垂 水 小	吉 村 富 士 代	6 年
	③ 城 南 小	亀 井 雅 子	3 年
研 究 部	① 城 坤 小	山 野 正 登	4 年
	② 垂 水 小	平 澤 昌 司	4 年
	③ 小 手 島 小	石 川 裕 之	5、6年
基 礎 テ ス ト 部	① 城 西 小	久 保 山 学	6 年
	② 城 東 小	合 田 吉 宏	T、T年
	③ 城 辰 小	小 山 善 弘	5 年

【坂 出 市】

	学 校 名	氏 名	担当学年
定 例 会	① 加 茂 小	川 中 祥 照	専 科
	② 東 部 小	吉 田 和 弘	6 年
	③		
女 子 部	① 中 央 小	高 尾 久美子	6 年
	② 中 央 小	丸 岡 小百合	4 年
	③		
研 究 部	① 中 央 小	寺 嶋 俊 秀	4 年
	② 西 部 小	野 村 亮 子	専 科
	③		
基 礎 テ ス ト 部	① 府 中 小	福 家 光 洋	4 年
	② 東 部 小	地 下 浩 文	4 年
	③		

【小 豆 郡】

	学 校 名	氏 名	担当学年
定 例 会	① 豊 島 小	井 上 泉	
	② 福 田 小	池 田 茂 樹	
	③		
女 子 部	①		
	②		
	③		
研 究 部	① 星 城 小	竹 内 久 司	
	② 安 田 小	役 重 和 雅	
	③		
基 礎 テ ス ト 部	① 大 部 小	馬 場 直 明	
	②		
	③		

【大 川 郡】

	学 校 名	氏 名	担当学年
定 例 会	① 相 生 小	高 田 宏 隆	3 年
	② 誉 水 小	沖 康 二	3 年
	③ 白 鳥 小	古 澤 哲 夫	5 年
	① 三 本 松 小	永 坂 邦 彦	6 年
女 子 部	① 引 田 小	向 上 智 恵 子	1 年
	② 本 町 小	窪 田 史 子	2 年
	③ 三 本 松 小	上 村 京 子	2 年
	① 鶴 羽 小	野 網 明 子	2 年
研 究 部	① 造 田 小	大 高 哲 也	T、T
	② 石 田 小	江 崎 衣 代	1 年
	③ 五 名 小	橋 本 義 人	6 年
	① 鶴 羽 小	六 車 浩	4 年
基 礎 テ ス ト 部	① 北 山 小	松 村 和 仁	5 年
	② 造 田 小	大 高 哲 也	T、T
	③ 相 生 小	高 田 宏 隆	3 年

【木 田 郡】

	学 校 名	氏 名	担当学年
定 例 会	① 田 中 小	森 口 英 樹	6 年
	② 平 井 小	佐 伯 光 子	6 年
	③ 氷 上 小	柴 原 照 子	4 年
女 子 部	① 庵 治 小	益 田 隆 子	T、T
	② 庵 治 小	櫛 本 初 代	3 年
	③ 牟 礼 南 小	小 比 賀 容 子	3 年
研 究 部	① 白 山 小	泉 聡	4、6年
	② 白 山 小	樫 原 一 宏	5 年
	③ 牟 礼 北 小	亀 井 可 奈 子	1 年
基 礎 テ ス ト 部	① 氷 上 小	長 岡 伸 幸	3 年
	② 神 山 小	小 笠 原 学	5 年
	③ 平 井 小	田 岡 直 樹	5 年

【香 川 郡】

	学 校 名	氏 名	担当学年
定 例 会	① 直 島 小	小 比 賀 隆 之	専 科
	② 香 南 小	宮 田 一 真	5 年
	③ 浅 野 小	安 藤 謹 生	5 年
	① 大 野 小	野 土 裕 彦	5 年
女 子 部	① 川 東 小	小 比 賀 節 子	1 年
	② 塩 江 小	星 野 真 理 子	3 年
	③ 上 西 小	國 村 容 子	5 年
	① 大 野 小	藤本 和美 (梶野文子)	4 年
	② 川 東 小	益田真由美 (磯部多恵)	3 年
研 究 部	① 浅 野 小	長 谷 民 子	障 害 児
	② 大 野 小	小 原 敏 昭	6 年
	③ 香 南 小	前 田 宏 之	4 年
	① 川 東 小	宮 脇 好 美	4 年
基 礎 テ ス ト 部	① 香 南 小	小 西 俊 毅	3 年
	② 安 原 小	橋 本 英 敏	6 年
	③		

【綾 歌 郡】

	学 校 名	氏 名	担当学年
定 例 会	① 滝 宮 小	波 多 誠	5 年
	② 昭 和 小	有 岡 俊 文	1 年
	③ 飯 山 南 小	徳 永 桂 子	
女 子 部	① 西 分 南 小	萱 原 照 子	
	② 国 分 寺 北 部 小	長 友 章 子	
	③ 羽 床 小	好 井 久 子	
研 究 部	① 国 分 寺 南 部 小	眞 井 孝 柁	専 科
	② 国 分 寺 北 部 小	宇 山 知 昌	6 年
	③ 国 分 寺 南 部 小	蓮 本 悟 美	6 年
基 礎 テ ス ト 部	① 昭 和 小	高 吉 直 之	6 年
	② 宇 多 津 小	宮 武 克 明	6 年
	③ 国 分 寺 南 部 小	平 野 希 代 子	6 年

【仲多度郡・善通寺市】

	学 校 名	氏 名	担当学年
定 例 会	① 白 方 小	亀 山 典 良	6 年
	② 琴 平 小	片 井 功	6 年
	③ 東 部 小	高 橋 義 徳	3 年
女 子 部	① 多 度 津 小	小 林 規 子	5 年
	② 仲 南 北 小	谷 口 時 美	3 年
	③ 南 部 小	中 浦 和 子	4 年
研 究 部	① 東 部 小	森 昭 二	5 年
	② 豊 原 小	山 田 泰 二	5 年
	③ 琴 平 小	山 内 秀 則	3 年
基 礎 テ ス ト 部	① 多 度 津 小	板 倉 徹	4 年
	② 四 条 小	北 分 英 樹	5 年
	③ 仲 南 西 小	川 田 真 司	5 年

【三 豊 郡】

	学 校 名	氏 名	担当学年
定 例 会	① 上 高 野 小	安 藤 通	5 年
	② 詫 間 小	白 杵 優	5 年
	③ 栗 井 小	長 谷 川 剛	5 年
女 子 部	① 豊 田 小	實 田 小夜子	6 年
	② 詫 間 小	高 濱 淳 子	3 年
	③ 柞 田 小	橋 田 栄 子	2 年
研 究 部	① 豊 浜 小	岩 倉 隆 規	5 年
	② 箱 浦 小	木 村 勝 美	3 年
	③ 一 ノ 谷 小	赤 坂 光 敏	5 年
基 礎 テ ス ト 部	① 高 室 小	三 崎 彰 夫	6 年
	② 栗 島 小	萬 亀 弘 吉	4 年
	③ 辻 小	長 野 勝 己	4 年

平成9年度 香社研会員名簿

高松市

番号	郵便番号	学 校 所 在 地	学 校 名	学年	会 員 氏 名	学校電話	自宅電話
1	760	番町1-5-1	四 番 丁 小	校長	川 田 裕 史	0878 51-8390	
2	"	"	"	教頭	古 沢 博 美	"	
3	"	"	"	4	大 嶋 和 彦	"	
4	"	"	"	5	池 田 理 恵	"	
5	"	"	"	6	亀 井 伸 治	"	
6	"	亀岡町10-1	亀 阜 小	校長	伴 文 夫	61-2013	
7	"	"	"	教頭	高 橋 英 武	"	
8	"	"	"	4	熊 野 真 美	"	
9	"	"	"	4	田 中 知 子	"	
10	"	"	"	5	市 原 茂 幹	"	
11	"	"	"	5	上 井 嘉	"	
12	"	"	"	6	金 崎 美 穂	"	
13	"	"	"	院内	横 井 裕 子	"	
14	"	栗林町2-10-7	栗 林 小	4	寺 島 幹 人	61-3438	
15	"	"	"	4	富 永 淳 一	"	
16	"	"	"	6	真 鍋 康 秀	"	
17	"	花園町2-7-7	花 園 小	6	久 保 範 高	31-9129	
18	"	松島町2-14-5	松 島 小	6	蓮 本 和 博	33-6468	
19	"	築地町14-1	築 地 小	2	福 家 親 夫	31-7188	
20		末広町5	新塩屋町小	校長	林 靖 子	51-2011	
21		"	"	3	高 橋 洋 子	"	
22		"	"	5	岡 本 英 孝	"	
23		"	"	6	大 橋 けい子	"	
24		松並町636-1	鶴 尾 小	2	日 下 浩 子	67-2564	
25		"	"	3	黒 川 浩 一	"	
26		伏石町845-1	太 田 小	6	蘆 原 秀 稔	65-4433	
27		木太町3408-1	木 太 小	校長	上 川 敦 生	61-6337	
28		"	"	3	木 村 ますみ	"	
29		"	"	3	陶 山 真 司	"	
30		"	"	6	南 原 志 伸	"	

番号	郵便番号	学 校 所 在 地	学 校 名	学年	会 員 氏 名	学校電話	自宅電話
31		高松町398	古 高 松 小	3	宇喜多 孝 明	41-9204	
32		屋島西町1205-1	屋 島 小	5	青 木 隆 明	41-1538	
33		"	"	6	大 奥 洋 介	"	
34		東山崎町207-1	川 添 小	教頭	藤 田 和 代	47-6055	
35		"	"	1	樫 貴 志	"	
36		"	"	6	藤 田 忠 彦	"	
37		林町1108-1	林 小	5	向 永 和 資	65-6250	
38		三谷町217-1	三 溪 小	教頭	野 島 悟	89-0767	
39		"	"	4	佐々木 誠	"	
40		川部町1552	川 岡 小	校長	宮 武 利 雄	85-1253	
41		"	"	4	黒 川 紀 子	"	
42		"	"	5	藤 本 一 郎	"	
43		生島町345	下 笠 居 小	3	野 口 泰 三	81-3011	
44		女木町236-2	女 木 小	4	雨 山 幸 代	73-0210	
45		川島東町864-1	川 島 小	3	泉 保 光 邦	48-0050	
46		"	"	専科	香 西 謙 二	"	
47		菅沢町339	東 植 田 小	6	福 家 正 人	93-0036	
48		松縄町807-1	中 央 小	3	稲 田 耕 一	66-2938	
49		太田下町1823-1	太 田 南 小	5	島 田 しおり	65-9395	
50		屋島西町2469	屋 島 西 町	校長	上 枝 幸 紀	41-1063	
51		"	"	教頭	三 井 重 彰	"	
52		"	"	6	安 藤 吟 子	"	
53		"	"	障	高 井 和 美	"	
54		"	"	TT	濱 田 敬 三	"	

丸亀市

番号	郵便番号	学 校 所 在 地	学 校 名	学年	会 員 氏 名	学校電話	自宅電話
1	763	中府町5-15-1	城 乾 小	校長	宮 武 順 一	0877 22-8158	
2	"	"	"	6	越 智 紳一郎	"	
3	"	"	"	TT	藤 六 健	"	
4	"	"	"	3	高 木 京 子	"	
5	"	今津町348	城 坤 小	6	高 木 弘 信	24-4705	
6	"	"	"	4	山 野 正 登	"	

番号	郵便番号	学 校 所 在 地	学 校 名	学年	会 員 氏 名	学校電話	自宅電話
7	763	今津町348	城 坤 小	4	岡 田 陽 一	24-4705	
8	"	瓦町95	城 北 小	6	長 尾 純 子	24-4700	
9	"	"	"	3	山 下 晶 世	"	
10	"	六番丁12	城 西 小	6	久保山 学	22-9267	
11	"	"	"	4	氏 家 雅 子	"	
12	"	田村町973	城 南 小	6	多 田 明 広	24-6177	
13	"	"	"	3	亀 井 雅 子	"	
14	"	土器町5-113	城 東 小	TT	合 田 吉 宏	24-4703	
15	"	川西町北151	城 辰 小	5	小 山 善 弘	28-7401	
16	"	"	"	4	長 尾 朱 実	"	
17	"	"	"	5	宮 武 紀 子	"	
18	"	"	"	4	大 西 直 人	"	
19	"	郡家町790-1	郡 家 小	5	樋 口 昌 樹	28-8401	
20	"	"	"	TT	増 井 泰 弘	"	
21	"	飯野町西分93	飯 野 小	教頭	香 川 嘉 和	22-6019	
22	"	"	"	4	佐々原 正 樹	"	
23	"	垂水町1488	垂 水 小	4	平 澤 昌 司	28-7551	
24	"	"	"	6	吉 村 富士代	"	
25	"	広島町小手島2782	小 手 島 小	5、6	石 川 裕 之	29-2031	
26	"	垂水町1488	垂 水 小	1	若 林 菜穂子	28-7551	
27	"	六番丁12	城 西 小	4	中 條 寿 代	22-9267	
28	"	広島町	広 島 小	1	入 江 純 子		
29	"	今津町348	城 坤 小	障	森 川 宏 子	24-4705	

坂出市

番号	郵便番号	学 校 所 在 地	学 校 名	学年	会 員 氏 名	学校電話	自宅電話
1	762	白金町1-3-7	西 部 小	専科	野 村 亮 子	0877 46-2149	
2	"	寿町3-1-2	中 央 小	校長	曾 根 照 正	46-2124	
3	"	"	"	教頭	亀 井 彰	"	
4	"	"	"	6	高 尾 久美子	"	
5	"	"	"	6	丸 尾 ルミ子	"	
6	"	"	"	5	白 川 豊 浩	"	
7	"	"	"	4	寺 嶋 俊 秀	"	

坂出市

29日(金)

5:00~

中央小

番号	郵便番号	学 校 所 在 地	学 校 名	学年	会 員 氏 名	学校電話	自宅電話
8	762	寿町3-1-2	中 央 小	4	丸 岡 小百合	46-2124	
9	"	"	"	3	河 野 富 男	"	
10	"	"	"	2	香 川 浩 子	"	
11	"	"	"	2	楠 原 一 恵	"	
12	"	"	"	1	白 井 純 子	"	
13	"	室町1-1-21	東 部 小	校長	河 津 學	46-0234	
14	"	"	"	6	吉 田 和 弘	"	
15	"	"	"	5	大 野 史 子	"	
16	"	"	"	4	地 下 浩 文	"	
17	"	谷町3-1-23	金 山 小	校長	井 上 勝 之	46-2329	
18	"	西庄町524-2	西 庄 小	校長	木 本 珠 城	46-2662	
19	"	"	"	専科	岡 本 敏 英	"	
20	"	"	"	専科	田 中 秀 年	"	
21	"	林田町2191	林 田 小	校長	大 前 正 昭	47-0270	
22	"	加茂町1099	加 茂 小	専科	川 中 祥 照	48-0601	
23	"	府中町1193-3	府 中 小	4	福 家 光 洋	48-0610	
24	"	"	"	3	福 家 寿 夫	"	
25	"	"	"	1	沼 田 久仁子	"	
26	"	川津町3093-1	川 津 小	教頭	鈴 木 清 子	46-3884	
27	"	"	"	5	真 鍋 由紀子	"	
28	"	高屋町1050	松 山 小	5	大 西 祐 子	47-0606	
29	"	王越町木沢211	王 越 小	校長	丸 野 忠 義	42-0104	
30	"	瀬居町1490	瀬 居 小	2	熊 本 けい子	46-9194	
31	"	沙弥島152	沙 弥 小	1	香 川 和 美	45-6016	
32	"	櫃石585-17	櫃 石 小	校長	森 口 訓 行	43-0203	
33	"	"	"	教頭	金 井 宏 諾	"	
34	"	"	"	3、4	大 西 浩 史	"	
35	"	文京町2-4-2	附 坂 小	専科	福 岡 和 信	46-2692	
36	"	"	"	4	佐 柳 仁	"	

小豆郡

番号	郵便番号	学 校 所 在 地	学 校 名	学年	会 員 氏 名	学校電話	自宅電話
1	761-41	土庄町甲657-7	土 庄 小	障	六 吹 真 二	0879 62-0068	

番号	郵便番号	学 校 所 在 地	学 校 名	学年	会 員 氏 名	学校電話	自宅電話
2	761-41	土庄町甲657-7	土 庄 小	4	羽 座 則 史	0879 62-0068	
3	"	土庄町甲3417	戸 形 小	3	山 本 弘 子	62-0108	
4	761-41	土庄町湊崎甲1258	湊 崎 小	教頭	池 田 孝 徳	62-0072	
5	"	"	"	障	福 井 健 文	"	
6	"	土庄町大部甲1975	大 部 小	校長	亀 山 久 嘉	67-2120	
7	"	"	"	4	馬 場 直 明	"	
8	"	土庄町見目甲1587	北 浦 小	6	林 宗 利	65-2021	
9	"	土庄町伊喜末381	四 海 小	3	真 砂 俊 和	64-5051	
10	761-46	土庄町豊島家浦2516	豊 島 小	6	井 上 泉	68-2020	
11	"	"	"	3	尾 原 義 則	"	
12	761-43	池田町池田1760	池 田 小	3	森 玲 子	75-2222	
13	761-44	内海町草壁本町632	星 城 小	4	竹 内 久 司	82-2011	
14	"	内海町安田甲472	安 田 小	4	役 重 和 雅	82-2012	
15	"	内海町苗羽1360	苗 羽 小	5	大 西 貴 子	82-2013	
16	"	内海町福田甲718-1	福 田 小	同	池 田 茂 樹	84-2023	

大川郡

番号	郵便番号	学 校 所 在 地	学 校 名	学年	会 員 氏 名	学校電話	自宅電話
1	769-29	引田町南野204	相 生 小	3年	高 田 宏 隆	0879 33-3627	
2	"	引田町引田2068	引 田 小	1年	向 山 智恵子	33-2036	
3	769-27	白鳥町白鳥525	白 鳥 小	教頭	熊 田 正 美	25-2642	
4	"	"	"	5年	古 澤 哲 夫	"	
5	"	白鳥町松原167-1	本 町 小	2年	窪 田 史 子	25-3064	
6	"	白鳥町与田山351	福 栄 小	教頭	大 岡 真 海	27-2323	
7	"	白鳥町五名1400	五 名 小	6年	橋 本 義 人	29-2003	
8	769-26	大内町三本松862-1	三 本 松 小	6年	永 坂 邦 彦	25-2664	
9	"	"	"	2年	上 村 京 子	"	
10	"	大内町中筋425	誉 水 小	3年	沖 肅 二	25-2044	
11	769-25	大内町町田126-1	丹 生 小	教頭	三 好 憲 昭	25-3504	
12	761-09	大川町田面125	松 尾 小	校長	八 木 育 夫	43-3016	
13	"	"	"	3年	山 下 勝 正	"	
14	"	大川町富田西2595-2	富 田 小	教頭	小 倉 健 治	43-2016	
15	769-23	寒川町石出東甲425	石 田 小	育成 七	廣 瀬 強	43-2006	

番号	郵便番号	学 校 所 在 地	学 校 名	学年	会 員 氏 名	学校電話	自宅電話
16	769-23	寒川町石田東甲425	石 田 小	1年	江 崎 衣 代	0879 43-2006	
17	"	"	"	3年	山 下 博	"	
18	"	寒川町神前1615	神 前 小	3年	西 山 雅 道	43-2124	
19	"	長尾町東901-1	長 尾 小	5年	西 原 加世子	52-3181	
20	"	長尾町造田是弘688-1	造 田 小	教頭	佐 藤 正 文	52-2141	
21	"	"	"	TT	大 高 哲 也	"	
22	769-21	志度町大字志度727	志 度 小	4年	梅 本 明 宏	0878 94-0041	
23	769-24	津田町津田144	津 田 小	校長	古 市 聖 治	0879 42-2047	
24	"	津田町津田3645-5	北 山 小	校長	西 尾 英 一	42-2134	
25	"	"	"	教頭	寺 田 文 久	"	
26	"	"	"	5年	松 村 和 仁	"	
27	"	津田町鶴羽781-2	鶴 羽 小	4年	六 車 浩	42-2041	
28	"	"	"	2年	野 網 明 子	"	

木田郡

番号	郵便番号	学 校 所 在 地	学 校 名	学年	会 員 氏 名	学校電話	自宅電話
1	761-01	牟礼町大町1560	牟 礼 小	校長	今 雪 純 意	0878 45-9239	
2	"	庵治町790番地1	庵 治 小	教頭	山 下 晃	72-2581	
3	761-07	三木町平木710-1	平 井 小	5	田 岡 直 樹	98-0713	
4	761-06	三木町氷上2845	氷 上 小	3	長 岡 伸 幸	98-0710	
5	"	"	"	4	柴 原 照 子	"	
6	761-07	三木町下高岡352-1	白 山 小	4、6	泉 聡	98-0257	
7	"	"	"	5	檜 原 一 宏	"	
8	"	"	"	6	藤 岡 正 樹	"	
9	761-01	庵治町790-1	庵 治 小	3	櫛 本 初 代	71-2581	
10	"	"	"	TT	益 田 隆 子	"	
11	"	牟礼町大字牟礼2900-1	牟 礼 南 小	3	小比賀 容 子	45-9324	
12	"	"	牟 礼 北 小	1	亀 井 可奈子	45-5742	
13	761-07	三木町平木10-1	平 井 小	6	佐 伯 充 子	98-0713	
14	761-01	牟礼町大町1560	牟 礼 小	4	久 保 英 子	45-9239	
15	761-06	三木町田中4620-2	田 中 小	6	森 口 英 樹	98-0501	
16	"	三木町奥山987	神 山 小	5、6	小笠原 学	99-0254	

香川郡

番号	郵便番号	学 校 所 在 地	学 校 名	学年	会 員 氏 名	学校電話	自宅電話
1	761-16	塩江町安原上東365	塩 江 小	校長	鎌 野 修	0878 93-0027	
2	761-31	直島町1600	直 島 小	教頭	西 康比古	92-3007	
3	761-16	塩江町上西乙461	上 西 小	5	國 村 容 子	93-0045	
4	"	塩江町安原上東365	塩 江 小	3	星 野 真理子	93-0027	
5	761-15	塩江町安原下2号1684	安 原 小	6	橋 本 英 敏	97-0008	
6	761-14	香南町横井461	香 南 小	4	前 田 宏 之	79-2269	
7	"	"	"	5	宮 田 一 真	"	
8	"	"	"	3	小 西 俊 毅	"	
9	761-17	香川町川東上1865-8	川 東 小	1	小比賀 節 子	79-2012	
10	"	"	"	4	宮 脇 好 美	"	
11	"	"	"	3	益 田 真由美 (磯 部 多 恵)	"	
12	"	香川町浅野3088	浅 野 小	障害児学 長 谷 民 子	89-0215		
13	"	"	"	5	安 藤 謹 生	"	
14	"	"	"	5	近 藤 桂 子	"	
15	"	香川町大野1045-1	大 野 小	6	小 原 敏 昭	85-2165	
16	"	"	"	4	藤 本 和 美子 (梶 野 文)	"	
17	"	"	"	5	野 士 裕 彦	"	
18	761-31	直島町1600	直 島 小	専科	小比賀 隆 之	92-3007	

綾歌郡

番号	郵便番号	学 校 所 在 地	学 校 名	学年	会 員 氏 名	学校電話	自宅電話
1	761-22	綾上町扮所西甲2060	扮 所 小		鳥 居 久宮子	0878 78-2312	
2	"	綾上町西分1208	西 分 小	教頭	三 好 由美子	78-2013	
3	"	綾上町西分2213	西 分 南 小	6	萱 原 照 子	78-2703	
4	"	綾上町山田上甲1494-1	山 田 小		丸 野 博 史	78-2004	
5	761-21	綾南町大字畑田2381	昭 和 小	1	有 岡 俊 文	77-0519	
6	"	"	"		高 吉 直 之	"	
7	"	綾南町大字陶5878	陶 小		牧 野 佐江子	76-1182	
8	"	"	"		山 内 雅 子	"	
9	761-23	綾南町大字滝宮1100	滝 宮 小	校長	山 崎 敏 和	76-1183	
10	"	"	"	5	波 多 誠	"	
11	"	"	"	1	三 好 道 代	"	

番号	郵便番号	学 校 所 在 地	学 校 名	学年	会 員 氏 名	学校電話	自宅電話
12	761-23	綾南町大字滝宮1100	滝 宮 小	6	花 房 長 広	0878 76-1183	
13	"	綾南町大字羽床下2256	羽 床 小	校長	廣 田 秀 雄	76-1184	
14	"	"	"		好 井 久 子	"	
15	761-01	国分寺町新居1880	国分寺北部小	6	宇 山 知 昌	74-1154	
16	"	"	"		長 友 章 子	"	
17	"	国分寺町福家甲3005	国分寺南部小	校長	宇 多 龍 児	74-1160	
18	"	"	"	教頭	松 下 繁 美	"	
19	"	"	"	専科	眞 井 孝 証	"	
20	"	"	"		平 野 希代子	"	
21	"	"	"		林 聖 士	"	
22	"	"	"		楠 優 子	"	
23	761-24	綾歌町富熊1227	富 熊 小	校長	土 岐 道 憲	0877 86-2010	
24	"	"	"	6	中 野 昇 一	"	
25	"	"	"		末 澤 康 彦	"	
26	"	綾歌町岡田下217	岡 田 小		氏 家 敏 文	86-3004	
27	762	飯山町川原1874	飯 山 北 小		真 鍋 順 子	98-2020	
28	"	飯山町上法軍寺1206	飯 山 南 小	校長	丸 野 昭 善	98-2024	
29	"	"	"		徳 永 桂 子	"	
30	769-02	宇多津町815	宇 多 津 小	専科	廣 田 敏 子	49-1820	
31	"	"	"	6	宮 武 克 明	"	
32	"	"	"		太 田 和 美	"	
33	"	宇多津町浜八番町115	宇 多 津 北 小		宮 野 真 也	49-2000	

仲多度・善通寺

番号	郵便番号	学 校 所 在 地	学 校 名	学年	会 員 氏 名	学校電話	自宅電話
1	766	満濃町東高篠139	高 篠 小	校長	金 岡 邦 夫	0877 73-3842	
2	"	満濃町四条728	四 条 小		大喜多 峯 子	73-5514	
3	"	"	"		北 分 英 樹	"	
4	"	満濃町吉野74	満 濃 南 小		大 平 正 貴	79-2110	
5	"	満濃町炭所西1431-2	炭 小	教頭	梅 木 栄 枝	79-2006	
6	766-01	琴南町造田1984-1	西 小	教頭	森 本 義 臣	85-2010	
7	766-02	琴南町川東919	東 小		川 田 須美子	84-2333	
8	766-03	仲南町七箇2529	仲 南 東 小		野 田 明 子	77-2140	

番号	郵便番号	学 校 所 在 地	学 校 名	学年	会 員 氏 名	学校電話	自宅電話
9	766-03	仲南町十郷字追上下 大口20	仲 南 西 小		川 田 真 司	0877 77-2310	
10	"	仲南町十郷750-4	仲 南 北 小		谷 口 時 美	75-4032	
11	766	琴平町145-1	琴 平 小	校長	北 山 正 道	73-2831	
12	"	"	"		片 井 功	"	
13	"	"	"		大 林 博 子	"	
14	"	"	"		山 内 秀 則	"	
15	"	琴平町榎井58-3	榎 井 小		宮 本 正 輝	73-2830	
16	764	多度津町三井433-1	四 箇 小	校長	平 田 紀 子	32-2517	
17	"	"	"		森 井 信 一	"	
18	"	多度津町奥白方1142	白 方 小		亀 山 典 良	32-3331	
19	"	"	"		大 西 和 代	"	
20	"	多度津町南鴨704	豊 原 小		山 田 泰 子 香 川 敦 子	32-2050	
21	"	多度津町栄町三丁目 1-9	多 度 津 小		小 林 規 子	33-1616	
22	"	"	"		板 倉 徹	"	
23	765	善通寺市文京町四丁目 5-1	中 央 小		岩 崎 保 雄	62-1616	
24	"	"	"		篠 原 正 議	"	
25	"	善通寺市善通寺町1146	西 部 小		谷 口 和 幸	62-0701	
26	"	善通寺市生野町2990-1	南 部 小		中 浦 和 子	62-0702	
27	"	善通寺市稲木町450-1	東 部 小	教頭	三 井 尚	62-0703	
28	"	"	"		高 橋 義 徳	"	
29	"	"	"		森 昭 二	"	
30	"	善通寺市与北町1238	与 北 小	校長	伊 崎 義 晴	62-0704	
31	"	"	"		山 内 さつき	"	
32	"	善通寺市原田町306-1	竜 川 小		武 田 郁 子	62-0705	
33	"	善通寺市中村町1575-2	筆 岡 小		森 綾 子	62-0706	
34	"	善通寺市吉原町2811	吉 原 小		亀 山 由 佳	62-0707	

三豊郡

番号	郵便番号	学 校 所 在 地	学 校 名	学年	会 員 氏 名	学校電話	自宅電話
1	769-16	三・豊浜町和田浜1000	豊 浜 小	校長	大 山 正 子	52-2029 52-2151	
2	"	"	"	5	岩 倉 隆 視	"	
3	"	"	"	3	清 水 裕 子	"	
4	"	三・大野原町大野原 1950	大 野 原 小	内留	合 田 雅 気	54-2029	

番号	郵便番号	学 校 所 在 地	学 校 名	学年	会 員 氏 名	学校電話	自宅電話
5	769-16	三・大野原町大野原 1950	大 野 原 小	3	安 藤 雅 慶	54-2029	
6	768	観・観音寺町甲1186-2	観 音 寺 南 小	校長	中 田 清	25-4675	
7	"	"	"	教頭	岡 根 淳 二	"	
8	"	"	"	3	國 土 英 二	"	
9	"	"	"	1	佐 川 加寿子	"	
10	"	観・植田町365	常 磐 小	校長	大 西 孝 典	25-2988	
11	"	"	"	教頭	渡 邊 久仁子	"	
12	"	観・高屋町1877-1	高 室 小	5	秋 元 一 秀	25-2661	
13	"	"	"	6	三 崎 彰 夫	"	
14	"	観・柞田町1000	柞 田 小	教頭	藤 田 都 明	25-3621	
15	"	"	"	2	橋 田 栄 子	"	
16	"	観・新田町1413	豊 田 小	校長	牧 野 五十鈴	27-6303	
17	"	"	"	教頭	前 田 高 次	"	
18	"	"	"	6	宝 田 小夜子	"	
19	"	"	"	4	森 昭	"	
20	"	観・栗井町1452	栗 井 小	5	長谷川 剛	27-6229	
21	"	観・古川町102-1	一ノ谷小	5	赤 坂 光 敏	25-0204	
22	768-01	三・山本町辻1375	辻 小	4	長 野 勝 己	63-2037	
23	769-15	三・豊中町岡本188-1	桑 山 小	4	宮 武 昭 裕	62-2103	
24	"	"	"	5	吉 田 匡 克	"	
25	"	三・豊中町本山甲1893	本 山 小	校長	各 務 清	62-2125	
26	"	三・豊中町上高野2384	上 高 野 小	教頭	田 井 秀 典	62-2064	
27	"	"	"	5	安 藤 通	"	
28	"	"	"	専科	三 好 啓 治	"	
29	767	三・高瀬町比地93	比 地 小	校長	西 谷 則 一	72-5213	
30	"	"	"	専科	大久保 進	"	
31	"	"	"	6	深 川 隆	"	
32	"	三・三野町大見甲3034	大 見 小	校長	藤 田 美代子	72-5402	
33	769-11	三・詫間町詫間2158	詫 間 小	教頭	渡 邊 重 忠	83-2858	
34	"	"	"	5	白 杵 優	"	
35	"	"	"	3	高 浜 淳 子	"	
36	"	三・詫間町松崎722	松 崎 小	4	安 藤 清 和	83-2856	
37	"	"	"	6	名 越 盟 人	"	

番号	郵便番号	学 校 所 在 地	学 校 名	学年	会 員 氏 名	学校電話	自宅電話
38	769-11	三・詫間町松崎722	松 崎 小	5	石 川 博 健	83-2856	
39	"	三・詫間町箱551-1	箱 浦 小	3	木 村 勝 美	84-7356	
40	"	三・詫間町栗島1506-2	栗 島 小	4	萬 亀 弘 吉	84-7012	
41	768	観・観音寺町甲1186-2	観 音 寺 南 小	障 害 児	岸 上 也 寸 志	25-4675	
42	767	三・高瀬町下勝間803	勝 間 小	6	宮 武 一 美	72-5329	

